

統計数理研究所
研究リポート69

国民性の研究 第8回全国調査

— 1988年全国調査 —

1989年11月

統計数理研究所

当研究所では、現在“Annals of the Institute of Statistical Mathematics”と“統計数理”とを発行している。このレポートは研究調査のデータの発表を目的とし必要に応じて発行する。

ALL RIGHTS RESERVED.

NO PART OF THIS PUBLICATION MAY BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM OR BY ANY MEANS, ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPY, RECORDING, OR ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM, WITHOUT PERMISSION IN WRITING FROM THE INSTITUTE.

統 計 数 理 研 究 所

東京都港区南麻布4丁目6-7

電 話 446-1501

目 次

I	概 要	1
	§ 1 研究の経過	1
	§ 2 調査実施の概要	3
	§ 3 感謝のことば	8
	§ 4 文献と資料	9
II	質問文と集計表	19
	集計表の見方	19
	§ 1 基本項目	21
	§ 2 個人的態度	29
	§ 3 宗 教	39
	§ 4 子 供 ・ 家	42
	§ 5 身近な社会	47
	§ 6 男女の差異	57
	§ 7 一般の社会的問題	60
	§ 8 政治的態度	74
	§ 9 日本人・人種	78
III	質問項目一覧表	83

I 概 要

このレポートは、統計数理研究所の国民性調査委員会が5年ごとに実施している「国民性調査」の第8回全国調査（1988年秋実施）の結果を、単純集計の形でまとめたものである。

比較のため、今回調査した質問項目に関する過去の結果も掲げてある。

分析結果は、統計数理研究所『統計数理』、『Annals』などに発表される。

§ 1 研究の経過

1. 研究経過

国民性の研究は1953年（昭和28年）に第1回の全国調査を行い、以後5年ごとに全国調査を反復している。したがって、今回（1988年）は8回目に当り、初回から数えて35年目に行う調査である。

これらの全国調査はすべて全国民（20歳以上の有権者）を対象にする標本調査であり、各回ともそれぞれ層別多段サンプリングで3,000～6,000名の対象者を抽出し、個別面接聴取法で実施している。調査項目は毎回50項目前後であり、共通して使用している質問が多いが、1973年の第5回調査以後の調査では、従来から継続している調査項目を主とする調査票（K型とよぶ）と新規の調査項目に重きを置く調査票（M型とよぶ）との2種類の調査票を用いてきた。

なお、5年ごとの全国調査のほかに関連する多くの調査をおこなっている。これらの調査もそれぞれ独立の調査であると同時に、相互に比較・参照できるように企画されている。

2. 調査方法と調査項目の選定

この「日本人の国民性」の研究では、国民自身の考え方を、世論を調べるのと同様な調査方法で調べている。調査項目は、調査方法（面接調査）によ

る制約はあるが、広い範囲から国民性の特徴をよく表わす題材を選ぶようにしている。調査項目の選定手順の概略は、つぎのようである。

まず、国民性に関して言及している内外の文献や資料から、日本人の性質、態度、特徴とみられるものを収集し整理する。つぎに、これらの事項から面接調査に適するような質問項目を作成する。最後に質問全体の構成を吟味して、調査票にまとめる。

質問項目は、各種のプリテストや吟味調査により検討を加えるとともに、何回もくり返して調査に用い、その性質を確かめるように努めている。

3. 第8回全国調査の調査項目

今回の調査のねらいは大別して2つある。第一は、35年来の継続質問によって、日本人の“ものの考え方”の変化の様相を明らかにすることであり、第二は、従来との継続を図りながら、将来の新しい動向を探り、それに備えることである。

なお、今回の調査では、K型調査票とM型調査票の2種類の調査票を用いたが、両者とも、従来の継続質問と新しい質問の双方を含んでいる。ただし、K型調査票はM型に比べると長期にわたる継続質問の割合が多くなっている。

K型とM型にわかるのは、一人の対象者にかかる負担（面接時間の長さ）を軽減するための処置である。したがって、継続質問の中で、特に重要な質問は、K型とM型の両方に組入れてある。

調査に当たっては、サンプル全体の半分にK型を用い、残りの半分にはM型を用いた。

§ 2 調査実施の概要

1. サンプル

全国の市区町村を、地方性および人口規模を考慮して層別し、各層より合計 300 地点を選ぶものとし、まず市区町村を確率比例抽出で選ぶ（第 1 段のサンプリング）。ついで、選んだ各市町村から投票区を同じように確率比例抽出で選ぶ（第 2 段サンプリング）。最後に、抽出した投票区の有権者名簿より、その地点に割り当てた人数（平均 20）のサンプルを等間隔抽出で選んだ（第 3 段サンプリング）。計画サンプル数は全国で 6,000 人である。（表 1 層別のあらましを参照）

2. 調査票の種類

抽出した対象者 6,000 人に対し、名簿上の順序に従い K 型と M 型の調査票を交互に使用するように計画した。すなわち、どの地点でも、ほぼ 1/2 の人数に K 型を用い、他のほぼ 1/2 の人数に対しては M 型で調査を行なった。

3. 調査の実施

全国 36 大学の先生方の協力により、1988 年 9 月～12 月の期間に実施した。

まず、全国 300 の調査地点を各大学に割り当て、それらの大学に研究者が出張して、各大学で調査員となる学生に対して直接調査の説明を行った。調査員は、最初に担当地点の市・区役所、町・村役場にいき、指示された方法で選挙人名簿からサンプルを抽出する。（地点当り平均 20 人。）つぎに、サンプルとなった対象者の家を訪問し、対象者本人に会って、調査票どおりの質問をし、対象者の回答を調査票に記録する（個別面接聴取）。担当地点の調査が終了したら（およそ、1～2 週間を要する）、調査票を各大学の指導者の先生に提出し点検を受ける。このあと、調査票は一括して研究所に返送され、再度点検される。この結果、最終集計人数は K 型調査票 1,858 人、M 型調査票 1,824 人、合計 3,682 人で、これは計画サンプル 6,000 人の 61% に当る。この回収率 61% は、これまでの調査における最低となった。

なお、調査不能の詳細は表 2、表 3、表 4 に示してあるので、それを参照されたい。

表1 「第8回日本人の国民性調査」サンプリング

計画サンプル総数 = 6,000

計画地点総数 = 300

1地点当りサンプル数 = 20

1地点当り母集団人口 = 290,877

層 コード	層名称	地点総数	母集団人口 (有権者数)	割 当 サ ン プ ル 数	割 当 地 点 数
	《全 国 計》	3,291	*87,263	6,000	300
K	〈区 部 計〉	137	18,447	1,268	64
1. K-00	区 部	137	18,447	1,268	64
S	〈市 部 計〉	635	48,418	3,330	166
2. S-01	市 部 (人口20万人以上の市)	87	21,606	1,486	74
3. S-02	市 部 (人口20万人未満の市)	548	26,812	1,844	92
G	〈郡 部 計〉	2,491	19,738	1,357	68
4. G-00	郡 部	2,491	19,738	1,357	68
O	〈沖 縄 計〉	28	658	45	2
5. O-00	沖 縄 県	28	658	45	2

(* 単位千人)

表 2 調査不能の理由

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
		死 亡	移 転	該 当 者 な し	尋 ね 当 ら ず	長 期 不 在	病 気	一 時 不 在	拒 否	老 衰	そ の 他	計
K	%	1	6	3	3	7	6	28	41	4	2	100
	実数	7	75	30	36	79	67	318	475	49	19	1,155
M	%	1	8	2	3	8	8	28	37	4	1	100
	実数	6	91	29	38	89	93	328	427	49	13	1,163
計	%	1	7	3	3	7	7	28	39	4	1	100
	実数	13	166	59	74	168	160	646	902	98	32	2,318

4. 日程のあらまし（全国調査）

1988年	6月	調査の層別と調査地点の決定
	7月	質問項目の設定
	8月	協力大学に調査地点割当て
	9月～12月	調査の実施
1989年	1月～2月	調査結果のチェック
	3月	基本項目集計完了

表3 性別・年齢別サンプル・不能率

		性別		年齢別											計
		男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 歳 以上	
K	計 サンプル	837	1,021	173	150	180	245	188	177	153	167	153	110	162	1,858
	不 サンプル	609	546	144	128	110	147	111	99	97	76	60	52	131	1,155
	不能率	42	35	45	46	38	38	37	36	39	31	28	32	45	38
	計 画 サンプル %	1,446	1,567	317	278	290	392	299	276	250	243	213	162	293	3,013
1985年国調 による推定		48	52	10	9	9	11	11	10	9	8	7	5	11	100

		性別		年齢別											計
		男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 歳 以上	
M	計 サンプル	805	1,019	195	148	143	228	192	176	183	154	150	107	148	1,824
	不 サンプル	603	560	165	95	104	148	97	125	99	84	63	46	137	1,163
	不能率	43	35	46	39	42	39	34	42	35	35	30	30	48	39
	計 画 サンプル %	1,408	1,579	360	243	247	376	289	301	282	238	213	153	285	2,987
1985年国調 による推定		48	52	10	9	9	11	11	10	9	8	7	5	11	100

		性別		年齢別											計
		男	女	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 歳 以上	
K + M	計 サンプル	1,642	2,040	368	298	323	473	380	353	336	321	303	217	310	3,682
	不 サンプル	1,212	1,106	309	223	214	295	208	224	196	160	123	98	268	2,318
	不能率	42	35	46	43	40	38	35	39	37	33	29	31	46	39
	計 画 サンプル %	2,854	3,146	677	521	537	768	588	577	532	481	426	315	578	6,000
1985年国調 による推定		48	52	10	9	9	11	11	10	9	8	7	5	11	100

表4 地方・市郡別調査不能率

	地 方 別*											
	K				M				K + M			
	計サン 画ル	集サン 計ル	不サン 能ル	不能 率	計サン 画ル	集サン 計ル	不サン 能ル	不能 率	計サン 画ル	集サン 計ル	不サン 能ル	不能 率
北海道	150	100	50	33	150	99	51	34	300	199	101	34
東北	231	153	78	34	229	156	73	32	460	309	151	33
関東	932	494	438	47	922	479	443	48	1,854	973	881	48
中部(東)	240	187	53	22	240	177	63	26	480	364	116	24
中部(西)	270	182	88	33	270	172	98	36	540	354	186	34
近畿	544	311	233	43	536	316	220	41	1,080	627	453	42
中国	191	134	57	30	190	138	52	27	381	272	109	29
四国	110	82	28	25	110	74	36	32	220	156	64	29
九州	345	215	130	38	340	213	127	37	685	428	257	38
計	3,013	1,858	1,155	38	2,987	1,824	1,163	39	6,000	3,682	2,318	39

* 沖縄は九州に含めてある。

	市 街 別											
	K				M				K + M			
	計サン 画ル	集サン 計ル	不サン 能ル	不能 率	計サン 画ル	集サン 計ル	不サン 能ル	不能 率	計サン 画ル	集サン 計ル	不サン 能ル	不能 率
6大都市	500	224	276	55	490	229	261	53	990	453	537	54
人口50万 以上の市	302	169	133	44	298	162	136	46	600	331	269	45
人口20～ 50万の市	596	365	231	39	591	377	214	36	1,187	742	445	37
人口10～ 20万の市	344	204	140	41	340	203	137	40	684	407	277	40
人口5～ 10万の市	401	277	124	31	401	243	158	39	802	520	282	35
人口5万 未満の市	190	133	57	30	190	130	60	32	380	263	117	31
町 村	680	486	194	29	677	480	197	29	1,357	966	391	29
計	3,013	1,858	1,155	38	2,987	1,824	1,163	39	6,000	3,682	2,318	39

§ 3 感謝のことば

第8回全国調査の実施では、全国各地の大学の先生方および学生諸君の協力を得た。ここに、先生方のお名前をあげて厚くお礼を申しあげる。

(敬称は略します。所属は調査実施時のもの。)

濱保久(北海道大)、佐藤和之(弘前大)、諸富隆(岩手大)、石原敏道(山形大)、海野道郎(東北大)、河野義章(福島大)、横島章(宇都宮大)、黒須俊夫(群馬大)、上笹恒(筑波大)、青木孝悦(千葉大)、稲越孝雄(文教大)、西真平(埼玉大)、野嶋栄一郎(早稲田大)、中西尚道(文教大)、間藤侑(新潟大)、武藤孝典(信州大)、古屋健治(山梨大)、山崎準二(静岡大)、村上隆(名古屋大)、牧野義隆(中京大)、金子劭栄(金沢大)、返田健(岐阜大)、織田揮準(三重大)、門脇延行(滋賀大)、小島外弘(同志社大)、林英夫(関西大)、高木修(関西大)、香川真(大阪産業大)、辻本英夫(大阪市立大)、小石寛文(神戸大)、岩脇三良(兵庫教育大)、田中潔(岡山商科大)、黒川正流(広島大)、田丸敏高(鳥取大)、木下謙治(山口大)、佐古秀一(鳴門教育大)、渡辺弘純(愛媛大)、妻鳥敏彦(香川大)、松浦勲(高知大)、泰政春(福岡教育大)、柳昌子(福岡教育大)、西晃央(佐賀大)、永井博(熊本商科大)、土井聖陽(宮崎産業経営大)、井上佳朗(鹿児島大)、前原潤(琉球大)

また、東京地区での追跡調査では、次の先生方の支援をいただいた。
斉藤耕二(東京学芸大)、坂田幸繁(中央大)、森田誠(早稲田大)、巖島行雄(日本大)

このほか、調査の準備や実施段階ではもちろん、実施後のデータ処理など、ご協力を頂戴した方々が多い。なかでも、香川美知子、石田容子、秋山直樹の3方のご長期にわたるご尽力に負うところが大きい。

以上のように、第8回調査も、これまでの調査同様に、所内外の多くの方々のご協力により、無事終えることができた。ここに重ねて、お礼を申しあげる次第である。

なお、今回の調査委員は、水野欽司、坂元慶行、村上征勝、中村隆、柏木宣久(以上、統計数理研究所)である。他に、林知己夫(統数研名誉教授、現放送大学教授)、西平重喜(統数研名誉所員、現上智大学教授)、鈴木達三(統計数理研究所)の支援を得た。

§ 4 文献と資料

この研究について、すでに印刷されたものは次のとおりである。

1. 林知己夫：「国民性の研究」 教育統計 第30号，1954年，文部省調査局。
2. 林 他：「わが国国民性の統計数理的研究」 日本統計学会年報 1953年。
3. C. Hayashi et al. : A study of Japanese National Character. Ann. Inst. Statist. Math., Sup. I, 1959.
4. 「国民性の研究」 数研 研究レポート No. 5, 6, 1959年。
5. 「岐阜吟味調査」 数研 研究レポート No. 7, 1960年。
6. 西平重喜：「日本人のものの考え方」 経済評論 1959年8月臨時増刊号。
7. 林知己夫：「日本人の国民性」 自由 1960年1月号。
8. 西平重喜，鈴木達三：「わが国民性の統計的研究第2次調査」 日本統計学会年報 1959年。
9. Research Committee: A Study of the Japanese National Character - part II -. Ann. Inst. Statist. Math., Sup. II, 1960.
10. 統計数理研究所国民性調査委員会：日本人の国民性 至誠堂 1961年8月。
11. 西平重喜：日本人の意見 誠信書房 1963年。
12. 「岐阜調査 1963」 数研 研究レポート No. 8, 1963年。
13. 鈴木達三：「国民性の研究 - 第Ⅲ次全国調査について」 統計数理研究所彙報 第11巻2号，1964年。
14. 「国民性の研究」 第Ⅲ次調査，数研 研究レポート No. 11, 1964年。
15. 「成年の常識」 数研 研究レポート No. 12, 1964年。
16. 鈴木達三：「日本人は変わったか」 自由 1964年10月号。
17. Research Committee: A Study of the Japanese National Character, The Third Survey. Ann. Inst. Statist. Math., Sup. IV, 1966.
18. 林，西平，鈴木：図説 日本人の国民性 至誠堂 1965年5月。
19. 「国民性の研究」 1965年調査，数研 研究レポート No. 14, 1966年。
20. 林，鈴木：「日本人の自画像」 自由 1967年1月号。
21. 鈴木達三：「日本人の国民性・ものの考え方」 統計 1968年2月号。
22. 「宗教調査 - 1968年，国際比較 -」 数研 研究レポート No. 21, 1969年。
23. 西平重喜：「日本人の宗教的態度と国際比較」 布教 1969年6月号，7月号。
24. 「国民性の研究」 第4回全国調査，数研 研究レポート No. 23, 1969年。
25. 「国民性の研究」 1969年岐阜パネル調査・面接調査と自記式調査の比較，数研 研究レポート No. 24, 1969年。
26. 林知己夫：「日本人の国民像 - 15年の変化」 自由 1969年7月号。
27. 西平重喜：「15年間の意見の変化 - 国民性第Ⅳ次調査より」 国民生活研究 1969年7月号。
28. S. Nishihira: Les Attitudes des Japonais envers la religion. Ann. Inst. Statist. Math., Sup. 6, 1970.

29. T. Suzuki: A Study of the Japanese National Character -part IV-.
Ann. Inst. Statist. Math., Sup.6, 1970.
30. 林知己夫:「断絶する政党と国民の政治意識」自由 1970年2月号.
31. 西平重喜:「国民性の変化」第20回新聞広告ゼミナール講演集 全日本新聞広告会.
32. 統計数理研究所国民性調査委員会:第2日本人の国民性 至誠堂 1970年.
33. 西平重喜:「国民性調査からみた現代日本人の考え方感じ方」TVVリポート No.67, 1970年.
34. 青山博次郎:「日本人-統計から見た特性」毎日夫人 1971年5月号.
35. 鈴木達三:「海外における日系人のパーソナリティ調査企画」AD.R 54号,
(協和広告) 1971年.
36. 鈴木達三:「ハワイにおける日系人」学術月報 1972年2月号.
37. T. Suzuki et al.: A Study of Japanese-Americans in Honolulu,
Hawaii. Ann. Inst. Statist. Math., Sup.7, 1972.
38. 林知己夫:「比較研究のむずかしさ」共同通信 1972年7月5日号.
39. C. Hayashi: The Japanese National Character. 第20回国際心理学会
LS, 7-1, 1972年.
40. 林知己夫:「日本人の国民性について」サンケイ新聞 1972年8月25日号.
41. 西平重喜:「西洋人は宗教についてどう考えているか」宗務時報 No.29,
1972年.
42. 林, 西平, 野元, 鈴木:比較日本人論 中央公論社 1973年.
43. 西平重喜:「日本人の国民性について」心と社会 Vol.4, No.1, 1973年.
44. 鈴木達三:「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試みⅠ」統計数理
研究所彙報 第21巻2号, 1973年.
45. 林知己夫:「比較文化研究に対する一つの統計的分析の試みⅡ-態度数量
化の一方法Ⅳ-」統計数理研究所彙報 第21巻2号, 1973年.
46. 「ハワイにおける日系人」教研 研究リポート No.33, 1973年.
47. 坂元慶行:「公共意識と個人の権利意識」AD.R 63号 (協和広告)
1973年.
48. 林知己夫:「日本人の科学文明観」内外教育 1974年5月24日号.
49. 林知己夫:「日本人はどのように変わったか-国民性の調査から」町内週
報 1165号, 1974年6月.
50. 林知己夫:「日本人の心のヒダ」朝日新聞 1974年6月17日夕刊.
51. 鈴木達三:「日本人の国民性20年の変遷」(電通)モチベーションリサー
チ研究会定例研究会リポート No.12, 1974年6月.
52. 林知己夫:「現代若者の職場意識」あすへの力 No.62 神奈川県青少年育成
課, 1974年7月.

53. C. Hayashi and T. Suzuki: Quantitative Approach to a Cross-Societal Research: A Comparative Study of Japanese Character, Part I. Ann. Inst. Statist. Math., Vol. 26, No. 3, 1974, 455-516.
Part II. Ann. Inst. Statist. Math., Vol. 27, No. 1, 1975, 1-32.
54. C. Hayashi: Time, Age and Ways of Thinking—From the Kokuminsei Surveys. Journal of Asian and African Studies, X, 1-2, 1974, 75-85.
55. 西平重喜: 「変った国民性 変らない国民性」 自由 1974年8月号.
56. S. Nisihira: Changed and Unchanged Characteristics of the Japanese. Japan Echo, Vol. 1, No. 2, 1974, 22-32.
57. 林知己夫: 「日本人の国民性をめぐって」 教育と医学 1974年10月号.
58. 林知己夫: 「社会と統計」 放送大学テキスト 日本短波放送, 1974年.
59. 林知己夫: 「相互理解の構造」 青淵 1974年10月号.
60. 林知己夫: 「義理と人情」 にんげん百科 59, 1974年10月21日号.
61. 林知己夫: 「日本人は健全である—国民性調査20年で明らかにされた真実」 正論 1974年12月号.
62. 林知己夫: 「日本人の心は変ったか—調査からみた日本人の国民性」 日本人研究 No. 1, 1974年.
63. 西平重喜: 「政治についての世論の変化—20年史」 日本人研究 No. 1, 1974年.
64. 鈴木達三: 「国民性国際比較の方法—日本人とハワイ日系人の比較から」 日本人研究 No. 1, 1974年.
65. 林知己夫: 「日本人の偉人観」 歴史と旅 1974年12月号.
66. 林知己夫: 「日本人の価値観」 自治研修 1974年12月号.
67. 「国民性の研究」 第5回全国調査, 数研 研究レポート No. 38, 1974年.
68. 林知己夫: 「統計で日本人の心を描く」 日立 1975年2月号.
69. 鈴木達三: 「比較文化研究の問題」 数理科学 No. 141, 1975年3月号.
70. 西平重喜: 「日本人の宗教的態度の変化」 布教 29巻3号, 1975年.
71. 坂元慶行: 「戦後日本の経済と人間の意識構造」 週刊東洋経済 1975年4月24日臨時増刊号.
72. Y. Sakamoto: A Study of the Japanese National Character—part V—. Ann. Inst. Statist. Math., Sup. 8, 1975.
73. 林知己夫: 「日本人の勤労観」 毎日テーブルクチャー 1975年.
74. 林知己夫: 「日本人の意識は支持政党によりどうちがうか」 日本人研究 II 至誠堂, 1975年.
75. 統計数理研究所国民性調査委員会: 第3日本人の国民性 至誠堂, 1975年.
76. 林知己夫: 「日本人の生きがいについて」 貯蓄時報 No. 106, 1975年12月号.
77. 林知己夫: 「変わる思想・変わらぬ思想」 信濃毎日 1976年1月1日.
78. 鈴木達三: 「思想(意見)と年齢」 数理科学 1976年1月号.
79. 林知己夫: 「調査は何を物語るか」 スチールデザイン 154号, 1976年.

80. 鈴木達三：「地域開発，地域社会に関する世論」 日本地域開発センター報告書 1976年.
81. 林知己夫：「日本人の考え方はどう変わったか」 日本文化会議月例懇談会収録集 No. 85, 1976年.
82. 林知己夫：「世論をどうつかまえるか」 日本人研究 IV, 1976年.
83. 林知己夫：「比較研究ということ」 統計 1976年10月号.
84. C. Hayashi: Changes in Japanese Thought during the Past Twenty Years. 日本人研究会アメリカセミナーレポート 1977年.
85. 林知己夫：「世論調査の発展と現状」 輿論科学協会編 世論調査の現状と課題 至誠堂, 1977年.
86. 林知己夫：「価値観， にっぽん 1895-1977」 週刊東洋経済 4001号, 1977年.
87. 林知己夫：「計量的日本人論」 文化庁月報 No. 105, 1977年6月号.
88. 林知己夫：「日本人の対外国態度と対外国人態度」 日本人研究 V, 1977年.
89. T. Suzuki and T. Jitodai: Migration and Prefectural Identification in Four Japanese Prefectures. Ann. Inst. Statist. Math., Series B, Vol. 29, No. 3, 1977.
90. T. Suzuki and Y. Kuroda: A Note on Immigrants to Hawaii. Migration Research Series No. 1, in A Comparative Sociological Study on the Adaptation and Attitude Change of Asian Emigrants, Dept. of Sociology, The University of Tsukuba, December 1977, 30-39.
91. C. Hayashi: Japanese Attitude and Party Preference. (日本人研究 II の翻訳) Japan Echo, Vol. V, Special Issue, 1978.
92. 林知己夫：「日本人の対外国態度」 正論 1978年4月号.
93. 林知己夫：「革新政党の伸びる条件」 Voice 1978年4月号.
94. 西平重喜：世論反映の方法 (第II部第1章, 日本人の国民性) 誠信書房 1978年.
95. 林知己夫：「国民性」 実験心理学研究 17巻2号, 1978年.
96. C. Hayashi: Nationality, Social Psychology in Japan. Dep. of Social Psychology Osaka Univ., 1978.
97. Y. Kuroda, T. Suzuki and C. Hayashi: A Cross-National Analysis of the Japanese Character among Japanese-Americans in Honolulu, Ethnicity, Vol. 5, 1978, 42-59.
98. 林知己夫：「日本人のグループダイナミックス」 三隅二不二編 グループダイナミックス 旺文社 1978年.
99. 林知己夫：「政治意識の生態」 朝日新聞 1978年12月16日夕刊.
100. 「国民性の研究」 第6回全国調査, 統計数理研究所 研究リポート No. 46, 1979年.

101. 林知己夫：「戦後日本人の意識はどう変ったかー『伝統保守』へのUターンと“新型日本人”の出現」 朝日ジャーナル 1979年8月17・24日合併号.
102. 林知己夫：「都会人の自然観をめぐってー自然のあり方を考えるに際してー」 グリーンエイジ (財) 日本緑化センター 1979年9月号.
103. 林知己夫：「若い者は何をどう考えているかー国民性調査からー」 教育委員会月報 1979年10月号.
104. 林知己夫：「現代日本人の意識」 自警 1979年12月号.
105. 鈴木達三：「いつ日本人は勤勉でなくなるか」 文化会議 1979年7月号.
106. 林知己夫, 鈴木達三：「比較文化における統計的手法の確立」 (ハワイにおける日系人・非日系人調査) 統計数理研究所 研究リポート No. 47, 1979年.
107. C. Hayashi and T. Suzuki: Honolulu Residents and Their Attitudes in Multi-ethnic Perspective Toward a Theory of the American National Character, by Research Committee on the Study of Honolulu Residents, The ISM Monograph 1, Feb. 1980, Distributed by The University Press of Hawaii.
108. 林知己夫：「日本人の自然観ー心を探る統計的方法ー」 (講演概要) 新大広報 1980年.
109. T. Suzuki: Age, sex and cohort: explicating social changes in post-war Japan, Kyoto American studies summer seminar, Doshisha University, (with Leghorn, R.), 1980.
110. 林知己夫：「比較研究における方法論」 (トヨタ財団 第7回助成研究報告資料, 日本人とアメリカ人ー比較研究の意義・方法・可能性) 1980年2月.
111. 鈴木達三：「アメリカ人の価値意識」 (同上) 1980年2月.
112. T. Suzuki: Pitfalls in cross-cultural survey research: comparative study of value systems in Japan and the United States, The Japanese and the Americans: methodology and possibilities of international comparative studies, Toyota Foundation, 1980.
113. 林知己夫：「政治意識の感情構造と無党派層」 ((社) 民主主義研究会報告書) 1980年3月.
114. C. Hayashi: Data analysis in a comparative study. Data Analysis and Information, E. Diday et al. (eds), North-Holland Publishing Company, 1980.
115. 林知己夫：「心にとって加齢とは何か」 日本老年医学会雑誌 第17巻2号, 1980年.
116. 林知己夫：「日本人の意識の底を探る試みーお化けへの関心ー」 数理科学 No. 204, 1980年6月号.
117. 林知己夫：「若者の心の流れ」 更正保護 (法務省保護局編) 1980年7月.
118. 林知己夫：「多元化社会の生活関心」 (多元化社会の生活関心研究グループ) 大平総理の政策研究会報告書ー9, 1980年.

119. 林知己夫：「多元化社会の青少年」 教育委員会月報 No. 362, 1980年10月号.
120. 西平重喜：「日本人の考え方の変化」 自由 22巻9号, 1980年.
121. 水野欽司：「『暮し方』意識の動き－日本人の国民性調査から」 統計 1980年5月号.
122. 西平重喜：「日本人は宗教をどう考えているか」 宗務時報 No. 55, 1980年.
123. 水野欽司：「日本人の価値観を探る－第6回・国民性調査から」 自治研修叢書 公務員の倫理と価値観 第一法規, 1981年.
124. 林知己夫：「社会的態度基底構造についての国際比較方法の標準化に関する研究」 統計数理研究所研究レポート No. 54, 1981年.
125. 林知己夫：「国民性の比較研究－国際比較研究の問題点－」 日本文化の国際性と国際化の研究 昭和55年度 放送開発センター, 1981年.
126. 林知己夫：日本人研究三十年 至誠堂選書, 1981年.
127. 鈴木達三：「“ものの考え方”の変化と現代」 サイコロジー 1982年1月号.
128. 林知己夫：「考え方の筋道による国際比較」 現代社会心理学の発展 I (第7章2) ナカニシヤ出版, 1982年.
129. 林知己夫：「日本人論について」 文化と人間 (講座現代の心理学, 第6章) 小学館, 1982年.
130. 林知己夫, 馬場正人, 岡本宏：日本人の政治感覚 (日本人研究 6) 出光書店, 1982年.
131. 林知己夫：「日本人の生きがいの変遷」 教育と医学 4月号, 1982年.
132. 林知己夫, 米沢弘：日本人の深層意識 日本放送出版協会, 1982年.
133. 林知己夫：「計量的国民性研究の立場」 学術月報 Vol. 35, No. 3, 1982年.
134. 林知己夫：「法意識の底にあるものを求めて」 日本文化会議編 現代日本人の法意識 第一法規, 1982年.
135. 林知己夫：「敬う」 (特集－日本人像－) 月刊 NIRA 9月号, 1982年.
136. 林知己夫, 橋山貞登編：日本と東南アジアの文化摩擦, 出光書店, 1982年.
137. 鈴木達三：「国際比較の方法 日本人とアメリカ人」 数理科学 8月号, 1982年.
138. 鈴木達三, 中村隆：「継続調査の二次分析」 統計数理研究所 研究レポート No. 56, 1982年.
139. 鈴木達三, 中村隆：「マーケティングの新しい手法コウホート分析(上)」 DIAMONDハーバード・ビジネス 第7巻第4号, 1982年.
140. 鈴木達三, 中村隆：「注目されるコウホート分析(下)」 DIAMONDハーバード・ビジネス 第7巻第5号, 1982年.
141. 中村隆：「ベイズ型コウホート・モデル－標準コウホート表への適用－」 統計数理研究所彙報 29巻2号, 1982年.

142. 中村隆：「新しいコウホート分析について(1)～(3)」 中央調査報 No. 297～299, 1982年.
143. 統計数理研究所国民性調査委員会：第4日本人の国民性, 出光書店, 1982年.
144. 林知己夫：「女の意見の特色」 (日本人研究 7) 出光書店, 1983年.
145. 林知己夫：「日本人論と行動計量学」 行動計量学 10巻1号, 1983年.
146. 林知己夫：「日本人の健康観」 労働衛生 7月号, 1983年.
147. Chikio Hayashi: International Understanding through Broadcasting and the Basic Structure of the Social Behavior of People. HBF News Letter, ISSUE No. 16, May, 1983.
148. 鈴木達三：「コウホート分析－継続調査データの組織的利用法－」 マーケティング・リサーチャー No. 30, 1983年.
149. 鈴木達三, 中村隆：「社会調査データの集積化と二次分析」 統計数理研究所 研究レポート No. 58, 1983年.
150. 中村隆：「女性の意見の世代差」 (日本人研究 7) 出光書店, 1983年.
151. 坂元慶行：「日本人の国民性」 文化のなかの人間 (発達心理学への招待 7), 新曜社, 1983年.
152. 坂元慶行：「日本における意識動向の新たな断面－人間関係観を中心として－」 統計数理研究所彙報 31巻2号, 1984年.
153. 「国民性の研究」 第7回全国調査 統計数理研究所 研究レポート No. 60, 1984年.
154. 林知己夫：「社会調査による国際比較方法の研究」 統計数理研究所 研究レポート No. 59, 1984年.
155. C. Hayashi, F. Hayashi and T. Suzuki: Comparative Study of Life Style and Quality of Life, Japan and France. Behaviormetrika No. 15, 1984.
156. 林知己夫：「比較日本人論」 TASK (たばこ総合研究センター) 第26回 TASK講演会, 1984年.
157. 林知己夫：「新しい価値意識の形成過程に関する計量的研究」 統計数理研究所 研究レポート No. 61, 1984年.
158. 林知己夫・鮎戸弘 共編著：多次元尺度解析法の実際 サイエンス社, 1984年.
159. 林知己夫：調査の科学 講談社, 1984年.
160. C. Hayashi and T. Suzuki: Changes in Belief Systems, Quality of Life Issues and Social Conditions Over 25 Years in Post-War Japan. Ann. Inst. Statist. Math., Vol. 36, No. 1, 1984.
161. T. Suzuki: Ways of Life and Social Milieus in Japan and the United States: A Comparative Study. Behaviormetrika 15, 1984, 77-108.
162. 鈴木達三：「世代論の計量的展開－市場調査データとコウホート分析」 ブレーン Vol. 9, 1984年, 45-56.

163. The Research Committee on the Study of Japanese Americans in Honolulu, Hawaii: Honolulu's Japanese Americans in Comparative Perspective. The LSM Monograph 2, Distributed by The University Press of Hawaii, 1984.
164. 鈴木達三：「社会調査による国際比較研究における問題」 日本心理学会シンポジウム 1984年.
165. 林知己夫：「国際比較からみた私の日本人論」 集団力学研究所紀要 第1巻, 1984年.
166. 四手井綱英・林知己夫 共編著：森林をみる心 共立出版, 1984年.
167. 林知己夫：「新しい日本人が生まれつつある」 内外教育（時事通信社） 3598号, 1984年.
168. 中村隆：「コウホート分析の方法」 プレーン 24巻9号, 1984年.
169. 林知己夫：「現代日本人の心情風景」 サンケイ新聞 1984年12月10日夕刊.
170. 林知己夫：「日本人の国民性に関する十章」 教育委員会月報 12月号, 1984年.
171. 西平重喜：「日本人の国民性の研究」 ケース・データにみる社会・世論調査 芦書房, 1985年.
172. 坂元慶行：カテゴリーカルデータのモデル分析 共立出版, 1985年.
173. 統計数理研究所国民性調査委員会：「国民性調査のコウホート分析—第3版—」 統計数理研究所 研究レポート No. 62, 1985年.
174. 中村隆：「ベイズ型コウホートモデル」 統計数理 33巻2号, 1985年.
175. 林知己夫：「日本人のものの考え方・感じ方—国際交流における問題点—」 国際を考えるシリーズ 第3号, 国際商科大学国際交流研究所, 1985年.
176. 林知己夫：「国際文化比較の意味を考える」 日本文化会議 189号, 1985年.
177. 林知己夫：データ解析法 日本放送出版協会, 1985年.
178. The Research Committee on the Study of Honolulu residents: Third Attitudinal Survey of Honolulu Residents. Statistical Data Base and General Findings, Inst. Statist. Math., 1985.
179. 林知己夫：「比較文化研究における連鎖的調査方法の確立とその展開」 統計数理研究所 研究レポート No. 63, 1985年.
180. 林知己夫：「翻訳とは何か」 言語生活 創立400号記念臨時増刊号, 1985年.
181. 林知己夫：「日本人の国民性」 教育展望 5月号, 1985年.
182. 林知己夫：「国際相互理解と日本人研究」 サンケイ新聞 5月21日 及び, 正論 8月号, 1985年.
183. 林知己夫：「調査極意」 市場調査（輿論科学協会） 183号, 1985年.
184. 林知己夫：「「新しい日本人」とはどんな人間」 NEXT 8月号, 1985年.
185. T. Suzuki (with Rex Y. Leghorn): Age, Sex and Cohort: Explicating Social Change in Post-War Japan. Behaviormetrika, No. 18, 1985, 1-16

186. 鈴木達三：「消費者行動の新しいとらえ方－コウホート分析を中心に－」
IDR研究資料 98, 講演集「消費者行動を考える」（流通問題研究会）,
1985年, 59-77.
187. C. Hayashi, F. Hayashi, T. Suzuki, L. Lebart and Y. Kuroda: Com-
parative Study of Quality of Life and Multidimensional Data Analysis;
Japan, France and Hawaii. Fourth Internatioanl Symposium, Data
Analysis and Informatics (Versaille, France, Oct., 1985), INRIA,
1985.
Ed. Diday et al., Data Analysis and Informatic (North-Holland), 1987.
に収録.
188. 林知己夫：「新しい日本の誕生」 世界日報 1月13日号, 1985年.
189. 林知己夫・赤池弘次・鈴木達三：統計学特論 日本放送出版協会, 1985年.
190. 林知己夫：「比較日本人論」 TASK講演会（これからのライフスタイル）,
1985年.
191. 林知己夫：「文化の国際比較の意味を考える－意識調査の分析から－」
文化会議 189号, 1985年.
192. 林知己夫：「国際理解と国際比較」 統計数理 第33巻2号, 1985年.
193. 林知己夫：「比較文化研究における連鎖的調査方法の確立とその展開－改定
増補版－」 統計数理研究所 研究レポート No. 64, 1986年.
194. C. Hayashi and T. Suzuki (with Y. Kuroda): The Role of Language
in Cross-National Attitudinal Surveys: American and Japanese Re-
spondents. Applied Stochastic Models and Data Analysis, Vol. 2, 1986.
195. 林知己夫：「日本人の休み方, 遊び方」 観光文化 Vol. 59, No. 91,
1986年.
196. 林知己夫・鈴木達三：社会調査と数量化－国際比較におけるデータ解析－
岩波書店 1986年.
197. 林知己夫：「日本人の国民性」 新教育社会学辞典 東洋館出版社,
1986年.
198. 林知己夫：「国民性の統計的研究－来しかたを見て行くさきを思う」
統計数理 第34巻1号, 1986年.
199. 林知己夫：「世界の孤児にならないために」 集団力学研究所紀要 第3巻,
1986年.
200. 鈴木達三：「国際比較の現状とあり方－「意識の国際比較方法論の研究」
に向けて－」 文化会議 1986年11月号.
201. T. Suzuki (with M. Sasaki): Changes in religious commitment in the
United States, Holland, and Japan. American Journal of Sociology,
Vol. 92, No. 5, 1987.

202. C. Hayashi and T. Suzuki (with Y. Kuroda): The end of westernization and the beginning of new modernization in Japan; Attitude dynamics of the Japanese 1953-1983. The Arab Journal of the Social Sciences, Vol. 2, No. 1, 1987.
203. T. Suzuki und M. Sasaki (mit G. Trommsdorff): Soziale Ungleichheiten in Japan und der Bundesrepublik Deutschland. Kölner Zeitschrift für Soziologie und Sozial Psychologie, Vol. 39, No. 3, 1987.
204. 中村隆: 「年齢・時代・世代の違いを探るーコウホート分析の方法ー」 統計数理 35巻1号, 1987年.
205. 坂元慶行: 「「階層帰属意識」の実像」 統計数理 35巻2号, 1987年.
206. 中村隆: 「年齢・時代・世代の違いを捉えるーベイズ型コウホートモデルー」 インフォメーション 9月号, 1987年.
207. C. Hayashi: Statistical Study of Japanese National Character. Journal of Japan Statistical Society, Special Issue, 1987.
208. 林知己夫: 「日本人の人間関係」 人間関係論 (三隅二不二編著) 日本放送出版協会, 1987年.
209. 林知己夫: 「日本人研究と国際比較」 総研ジャーナル No. 50 (関西学院大, 総合研究室), 1988年.
210. 林知己夫: 「生活価値観の変化とその測定」 マーケティング教育研究所レポート 3月, 1988年.
211. 林知己夫: 日本人の心をはかる 朝日新聞社, 1988年.
212. 林知己夫: 「玉虫色好きは貴重な態度」 正論 10月号, 1988年.
213. Sigeki Nisihira and Aiji Tanaka: Religion and Politics in Japan - A Democracy in an Experiment under a Non-Judeo-Christian Culture. Religion and Politics, 印刷中.

Ⅱ 質問文と集計表

集計表の見方

1. ここには、1988年の第8回全国調査で使用した質問の全文とその集計表を収録してある。収録順はS, #番号順になっている。また、第8回以前の質問項目で、今回の質問と特に関連のあるものについては、参考までに数字をのせた。
2. 単純集計表には比較のため第1回～第8回の全国調査の結果を示した。

略 称	説 明
I (1953)	1953年(昭和28年)実施の第1回全国調査の結果を示す。
II (1958)	1958年(昭和33年)実施の第2回全国調査の結果を示す。
III (1963)	1963年(昭和38年)実施の第3回全国調査の結果を示す。
IV (1968)	1968年(昭和43年)実施の第4回全国調査の結果を示す。
V (1973)	1973年(昭和48年)実施の第5回全国調査の結果を示す。
VI (1978)	1978年(昭和53年)実施の第6回全国調査の結果を示す。
VII (1983)	1983年(昭和58年)実施の第7回全国調査の結果を示す。
VIII (1988)	1988年(昭和63年)今回実施の第8回全国調査の結果。

なお第5回～第8回調査のKというのは、前述のように過去との比較に重きをおいた調査票(第8回では黄色表紙)の集計結果、およびその質問番号をあらわし、Mは将来のために改良または新設した質問を主とした調査票(第8回では水色表紙)の集計結果と質問番号を示す。

また第2回調査も調査票を2種づくり、一方は問1から、他方は問101から始まっている。

問の欄の×印は、その回の調査では質問していないことを示す。

3. 集計表にあげられた選択肢のうち D.K. (Don't know) は「わからない」の意味であるが、この調査では、もう少し広くとり、調査員につきのように指示した。

“サンプルが質問の内容を理解しないときは、質問をくりかえし、それでもわからないようなら D.K (Don't know) とすること。質問の内容は、だれでもわかるはずの言葉を使うように心がけている。中には二、三その範囲を越えることもあるが、統計調査であるから、この言葉で質問したとき、無答の人がどのくらいいたかは大切なデータとなるので、いいかえたりしないこと。また、サンプルが質問に対して判断する力がないもの、あるいは、その質問の答を拒否したものをさすこと。(理由をいわずに、“なんともいえない”とか2、3回質問をくり返してみても“さあ、わかりません”といったものを含む)。”

4. 質問文の体裁は調査票に印刷した通りである。回答記入欄も調査票の通りである。リスト(回答選択肢を記入して回答者に示す)を使用した質問は質問文の前に〔リスト〕とある。なお、リストには回答選択肢のみ印刷し、その他、D, K. は入っていない。

5. 集計表の数字は%を示すもので、第1回から第8回までのすべての結果について、小数点以下を4捨5入してある。したがって、全選択肢の%を加算した値が、表面上100にならない場合がある。

なお、この報告書以前に発表した第6回までの集計表では、%の合計が100になるよう調整したが、今回はそれを行っていない。そのため、質問によっては、過去に発表した第6回までの集計表の%の値と、わずかに異なるものがあるので、注意されたい。

6. 集計表の計の欄の()は、集計に用いたサンプルの人数である。

§ 1 基本項目

#1.1 性

#1.2 年齡

	問	1 2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計
		男	女	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	
		以													
		24 29 34 39 44 49 54 59 64 69 上													
I (1953)	1	47	53	19	15	12	11	10	8	9	6	5	3	2	100(2,254)
II (1958)	¹ 101	46	54	15	14	14	10	11	8	7	7	6	4	4	100(2,369)
III (1963)	○	46	54	13	13	14	12	10	9	9	6	6	4	4	100(2,698)
IV (1968)	○	47	53	12	13	13	13	11	8	7	7	6	4	4	100(3,033)
V (1973)	K+M	45	55	14	11	12	12	12	10	8	7	5	4	5	100(4,594)
	K	46	54	14	12	12	12	12	10	7	7	5	4	5	100(3,055)
	M	43	57	13	11	12	13	12	10	9	7	5	4	5	100(1,539)
VI (1978)	K+M	44	56	10	12	12	12	11	11	8	7	6	5	7	100(3,945)
	K	44	56	9	12	12	13	11	11	9	7	5	5	7	100(2,032)
	M	43	57	10	12	13	10	11	11	8	7	7	4	6	100(1,913)
VII (1983)	K+M	44	56	9	9	12	11	11	11	10	8	6	5	7	100(4,429)
	K	44	56	9	9	12	11	11	11	10	8	6	5	7	100(2,256)
	M	45	55	9	9	13	11	10	11	10	9	6	5	7	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	45	55	10	8	9	13	10	10	9	9	8	6	8	100(3,682)
	K	45	55	9	8	10	13	10	10	8	9	8	6	9	100(1,858)
	M	44	56	11	8	8	13	11	10	10	8	8	6	8	100(1,824)

#1.3 学歴

[学歴] あなたが、最後にいらっしゃった学校はなんですか？

- 1 小学校 [学歴なしをふくむ]
- 2 新制中学 [旧制高等小学]
- 3 新制高校 [工(商)業高校] ・旧制中学校 [中学校、工(商)業学校、(高等)女学校]
- 4 大学、短大、高専 [旧制高等学校、工(商)業専門、高等工(商)業]
- 5 その他 [1～4のどれに当たるか分らないときは校名記入]

	問	1 小 学	2 中 学	3 高 校	4 大 学	5 他	計
I (1953)	55	33	35	24	6	2	100(2,254)
II (1958)	32a 132a	31	37	24	7	1	100(2,369)
III (1963)	○	21	41	29	8	1	100(2,698)
IV (1968)	○	16	40	34	10	0	100(3,033)
V (1973)	K+M	15	30	41	12	2	100(4,594)
	K	15	30	42	11	2	100(3,055)
	M29	14	31	40	13	2	100(1,539)
VI (1978)	K+M	10	32	40	16	2	100(3,945)
	K	10	32	41	15	2	100(2,032)
	M	11	32	39	17	1	100(1,913)
VII (1983)	K+M	8	29	43	19	1	100(4,429)
	K	8	29	43	19	1	100(2,256)
	M	9	29	43	18	1	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	32		45	22	1	100(3,682)
	K	31		44	23	1	100(1,858)
	M	32		46	22	1	100(1,824)

#1.4b 勤務時間

[リスト] あなたのお仕事はつぎのどれに当たりますか？

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | フルタイム (ほとんど毎日仕事に行っている) |
| 2 | パートタイム (毎日ではないが、仕事に行っている) |
| 3 | 無職 (学生を含む) |
| 4 | その他 |
| 5 | D. K. |

	問	1 フル タイ ム	2 パ ー ト タ イ ム	3 無 職	4 そ の 他	5 D. K.	計
VIII (1988)	K+M	58	11	29	2	0	100(3,682)
	K	58	11	30	2	0	100(1,858)
	M	58	11	29	2	0	100(1,824)

#1.4c 職業 新形式

[リスト] では、あなたのお仕事の種類は、つぎのどれに当たりますか？

1 農林水産業	
2 自営の商工業	
3 専門、自由業（教員、医者など）	
4 管理職（課長以上）	
5 事務系の勤め人（ホワイトカラー）	
6 作業系の勤め人（ブルーカラー）	
7 主婦（専業主婦）	
8 学生、無職	9 D・K

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		農 林 水 産 業	自 営 の 商 工 業	専 門 ・ 自 由 業	管 理 職	事 務 系 の 勤 め 人	作 業 系 の 勤 め 人	主 婦	学 生 ・ 無 職	D ・ K	
V (1973)*	K+M	13	10	5	3	16	16	26	10	1	100(4,594)
	K	13	10	5	3	16	16	26	10	1	100(3,055)
	M30	13	11	5	2	15	16	27	10	1	100(1,539)
VIII (1988)	K+M	8	12	8	5	16	20	18	13	1	100(3,682)
	K	7	13	8	5	15	21	18	13	1	100(1,858)
	M	8	12	7	5	17	20	18	13	1	100(1,824)

*1973年は 3 事務系の勤め人（ホワイトカラー）

4 作業系の勤め人（ブルーカラー）

5 専門、自由業（教員、医者など）

6 管理職（課長以上）

の順

#1.5 市郡

	問	1	2		3	4	5	6	計
		区	市					町	
		6	50	20	10	5	5		
		大	万				万		
		都	以	50	20	10	未		
		市	上	万	万	万	満	村	
I (1953)		13	7		6	6	7	61	100(2,254)
II (1958)		15	10		9	9	13	44	100(2,369)
III (1963)		16	12		11	11	12	38	100(2,698)
IV (1968)		17	17		10	12	11	33	100(3,033)
V (1973)	K+M	18	23		9	12	10	28	100(4,594)
	K	18	23		10	12	10	28	100(3,055)
	M	18	23		9	12	10	28	100(1,539)
VI (1978)	K+M	15	26		10	15	8	26	100(3,945)
	K	15	27		10	15	8	25	100(2,032)
	M	16	26		10	15	8	26	100(1,913)
VII (1983)	K+M	14	8	20	11	14	7	25	100(4,429)
	K	14	8	20	12	14	7	25	100(2,256)
	M	14	8	20	11	14	7	25	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	12	9	20	11	14	7	26	100(3,682)
	K	12	9	20	11	15	7	26	100(1,858)
	M	13	9	21	11	13	7	26	100(1,824)

#1.6 地方

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

中部(東)：新潟、山梨、長野、静岡

中部(西)：富山、石川、福井、岐阜、愛知

近畿：三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口

四国：香川、愛媛、徳島、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島

沖縄：沖縄 (*VからVIIは九州にふくまれる)

	問	1 北 海 道	2 東 北	3 関 東	4 中 部 (東)	5 中 部 (西)	6 近 畿	7 中 国	8 四 国	9 九 州	10 沖 縄	計
I (1953)		5	11	22	8	9	15	8	6	15	—	100(2,254)
II (1958)		5	10	24	8	9	15	8	5	15	—	100(2,369)
III (1963)		5	10	23	9	10	17	8	4	13	—	100(2,698)
IV (1968)		5	10	25	9	9	16	8	4	13	—	100(3,033)
V (1973)	K+M	4	9	28	8	10	18	7	3	13	*	100(4,594)
	K	4	9	28	8	10	17	7	3	13	*	100(3,055)
	M	5	9	28	7	11	18	7	3	12	*	100(1,539)
VI (1978)	K+M	4	9	28	8	11	18	7	3	12	*	100(3,945)
	K	4	9	28	8	11	18	7	3	12	*	100(2,032)
	M	4	9	28	8	11	18	7	3	13	*	100(1,913)
VII (1983)	K+M	4	9	29	8	10	17	7	4	12	*	100(4,429)
	K	4	9	29	8	10	17	7	4	11	*	100(2,256)
	M	5	8	28	8	10	17	7	4	12	*	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	5	8	26	10	10	17	7	4	11	1	100(3,682)
	K	5	8	27	10	10	17	7	4	11	1	100(1,858)
	M	5	9	26	10	9	17	8	4	11	1	100(1,824)

#1.8 帰属階級

[リスト] かりに現在の日本の社会全体を、この表にかいてあるように5つの層に分けるとすれば、お宅は、このどれに入りますか？

1	上
2	中の上
3	中の中
4	中の下
5	下
6	その他 [記入]
7	D. K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	計
		上	中 の 上	中 の 中	中 の 下	下	他	D ・ K	
VII (1983)	K+M	2	12	53	26	5	0	2	100(4,429)
	K33	2	13	53	24	5	0	2	100(2,256)
	M30	1	11	52	28	5	0	3	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	1	12	52	27	5	3	2	100(3,682)
	K32	2	12	52	27	5	3	2	100(1,858)
	M23	1	13	51	27	5	3	3	100(1,824)

#1.9 所有

[リスト] つぎにあげたもののうち、お宅にはどれとどれがありますか。あるものを全部あげてください。(複数回答)

1 乗用車(営業用以外)	2 電気冷蔵庫
3 パソコン(マイコン)	4 応接セット
5 宅地	6 家屋(分譲マンションを含む)
7 別荘(共同所有を含む)	8 コンパクト・ディスク
9 電話	10 ビデオ・レコーダ
11 その他[記入]	12 D. K.

	問	1	2	3	4	5	6	7	ク	8*	9	10	11	12	計 (複数回答)
		乗 用 車	電 気 冷 蔵	パ ソ ク ン	応 接 セ ツ	宅 地	家 屋	別 荘	レ コ ー ダ	電 話	ビ デ オ	コ ン パ ク ト	ド ィ ス ク	他 の D ・ K	
VII(1983)	K+M	70	99	7	41	69	72	2	45	-	97	-	1	0	(4,429)
	K	71	99	7	41	69	73	2	43	-	97	-	1	0	(2,256)
	M	70	99	7	41	68	72	2	46	-	96	-	1	0	(2,173)
VIII(1988)	K+M	78	99	21	44	69	72	2	-	24	98	70	1	0	(3,682)
	K	78	99	22	42	69	73	2	-	23	98	69	1	0	(1,858)
	M	79	99	21	45	69	72	2	-	25	98	70	1	0	(1,824)

* VII(1983)は 8 クレジットカード

VIII(1988)から 8 コンパクトディスク、

10 ビデオ・レコーダが加わる

§ 2 個人的態度

#2.1 しきたりに従うか

あなたは、自分が正しいと思えば世のしきたりに反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間のしきたりに、従った方がまちがいないと思いますか？

- | | |
|---|----------|
| 1 | おし通せ |
| 2 | 従え |
| 3 | 場合による |
| 4 | その他 [記入] |
| 5 | D. K. |

	問	1 おし 通せ	2 従 え	3 場 合 に よ る	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	4	41	35	19	1	4	100 (2, 254)
II (1958)	7 107	41	35	19	1	4	100 (2, 369)
III (1963)	7	40	32	25	1	2	100 (2, 698)
IV (1968)	8	42	34	20	2	2	100 (3, 033)
V (1973)	K11	36	32	29	1	3	100 (3, 055)
VI (1978)	K 6	30	42	24	2	2	100 (2, 032)
VII (1983)	K+M	29	39	29	1	2	100 (4, 429)
	K 6	30	37	30	1	2	100 (2, 256)
	M 5	29	40	28	1	2	100 (2, 173)
VIII (1988)	K 7	27	36	35	1	2	100 (1, 858)

#2.2b スジか まるくか

[リスト] 物事の『スジを通すこと』に重点をおく人と、物事を『まるくおさめること』に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか？

- | |
|----------------------|
| 1 『スジを通すこと』に重点をおく人 |
| 2 『まるくおさめること』に重点をおく人 |
| 3 その他 [記入] |
| 4 D. K. |

	問	1 ス ジ を 通 す	2 ま お る さ く め る	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	×					
VI (1978)	K13	44	50	4	2	100(2,032)
VII (1983)	K27	45	51	2	2	100(2,256)
VIII (1988)	K25	42	54	2	2	100(1,858)

#2.3d 社会に満足か

[リスト] あなたは、社会に対して満足していますか、それとも不満がありますか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満 や 足 や	3 不 や 満 や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M 9b	6	20	37	30	1	6	100(1,539)
VI (1978)	M 5b	9	28	38	19	1	5	100(1,913)
VII (1983)	K+M	9	31	39	18	1	2	100(4,429)
	K32b	9	29	39	20	1	2	100(2,256)
	M19	9	34	39	16	1	2	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	6	29	43	18	1	3	100(3,682)
	K31b	7	28	44	19	1	2	100(1,858)
	M20b	6	30	43	18	1	3	100(1,824)

#2.3h 暮らしむき満足か

[同じリスト] あなたは、自分の暮し向きに満足していますか、それとも、不満がありますか？

1 満 足	2 やや満足	3 やや不満
4 不 満	5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 満 足	2 満 や 足 や	3 不 や 満 や	4 不 満	5 他	6 D. K.	計
VIII (1988)	K+M	30	45	19	5	1	0	100(3,682)
	K31a	32	44	17	6	0	0	100(1,858)
	M20a	29	45	20	5	1	1	100(1,824)

#2.4 くらし方

[リスト] 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるものうちで、どれが1番、あなた自身の気持ちに近いものですか？

1	一生けんめい働き、金持ちになること
2	まじめに勉強して、名をあげること
3	金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること
4	その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5	世の中の正しくないことを押しつけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6	自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
7	その他 [記入]
	8 D. K.

	問	1 金 持 ち	2 名 を あ げ る	3 趣 味	4 の ん き に	5 清 く 正 し く	6 社 会 に つ く す	7 他	8 D.K.	計
I (1953)	39	15	6	21	11	29	10	4	4	100(2,254)
II (1958)	22	17	3	26	19	22	6	3	3	100(920)
III (1963)	26	17	4	30	19	18	6	3	3	100(2,698)
IV (1968)	31	17	3	32	20	17	6	2	3	100(3,033)
V (1973)	K34	14	3	39	23	11	5	2	3	100(3,055)
VI (1978)	K19	14	2	39	22	11	7	2	4	100(2,032)
VII (1983)	K+M	18	2	38	23	9	5	2	4	100(4,429)
	K20	20	2	38	20	10	6	2	4	100(2,256)
	M20	15	2	38	26	9	4	2	3	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	15	3	41	23	9	4	2	3	100(3,682)
	K18	17	3	38	23	9	4	3	3	100(1,858)
	M 9	14	2	45	23	9	4	2	3	100(1,824)

#2.5 自然と人間との関係

[リスト] 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけえらんで下さい?

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 人間が幸福になるためには、自然に従わなければならない |
| 2 | 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない |
| 3 | 人間が幸福になるためには、自然を征服してゆかなければならない |
| 4 | その他[記入] |
| 5 | D. K. |

	問	1 自 然 に 従 え	2 自 然 を 利 用	3 自 然 を 征 服	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	34	26	41	23	1	8	100(2,254)
II (1958)	15	20	37	28	1	13	100(920)
III (1963)	15	19	40	30	1	10	100(2,698)
IV (1968)	17	19	40	34	1	7	100(3,033)
V (1973)	K+M	31	45	17	1	7	100(4,594)
	K23	30	45	16	1	8	100(3,055)
	M20	32	44	18	1	5	100(1,539)
VI (1978)	K16	33	44	16	1	6	100(2,032)
VII (1983)	K+M	36	47	11	1	4	100(4,429)
	K17	41	41	12	1	4	100(2,256)
	M17	31	53	11	1	4	100(2,173)
VIII (1988)	K15	42	44	9	2	4	100(1,858)

#2.7 一番大切なもの

あなたにとって1番大切と思うものは何ですか。1つだけあげてください
(なんでもかまいません)？

(自由回答)

[品物、愛情、子供などなんでもよいが、こちらからは絶対に例をあげるな]

	問	1 生 命 ・ 健 康	2 子 供	3 家 族	4 家 族 先 祖	5 金 財 産	6 愛 情 ・ 精 神	7 仕 事 ・ 信 用	8 国 家 社 会	そ の 他	D K の 特 に な し	計
I (1953)	47	12	12	19	* 16	11	* *	* *	25	5	100(2,254)	
II (1958)	29 129	21	11	12	3 12	13	9	5	6	6	100(2,369)	
III (1963)	29	26	10	13	3 10	15	10	3	4	7	100(2,698)	
IV (1968)	34	28	8	13	3 8	15	10	4	6	6	100(3,033)	
V (1973)	K41	20	8	20	2 8	17	8	5	4	9	100(3,055)	
VI (1978)	K32	21	7	23	1 5	22	10	3	4	3	100(2,032)	
VII (1983)	K13	21	9	31	2 8	16	7	1	2	3	100(2,256)	
VIII (1988)	K11	22	10	33	1 6	16	4	1	2	4	100(1,858)	

*はその他

注) I (1953)調査では質問文、あなたの家で……

#2.7b あなたの趣味は

あなたの趣味はなんですか。1つだけあげてください（なんでもかまいません）？

(自由回答)

	問	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 読文音美伝 魚旅ド園ゲ飲買手料機 スつ 統ポリ行ラ芸 械 . . 芸ッ イ ム . 見 飼 . 工 運 ブ 娛 書芸楽術術動物 育楽食物芸理作
VII(1983)	K12	10 1 8 2 4 20 3 2 7 3 1 1 10 1 1
VIII(1988)	K10	8 1 8 2 4 22 4 4 7 3 1 1 8 2 1

	問	16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 テ家仕社生教交信収貯そなD レ族 会き ピ団事活方 仰 金 し . . ら 動 . ラン . 健 . . の . K . . 康 ジ休家奉づ 参 貯 全 く オ養事仕り養際詣集蓄他部	計
VII(1983)	K12	1 1 8 1 1 2 11 1	100(2,256)
VIII(1985)	K10	1 1 5 0 0 2 12 1	100(1,858)

#2.8 一生働くか

もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか？

- | | |
|---|----------|
| 1 | ずっと働く |
| 2 | 働くのをやめる |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 ず っ と 働 く	2 働 く や の め を る	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	×					
IV (1968)	×					
V (1973)	M 2	70	25	3	2	100(1,539)
VI (1978)	K 1	69	25	3	3	100(2,032)
VII (1983)	K+M	70	24	3	3	100(4,429)
	K 2	73	23	2	2	100(2,256)
	M 1	67	25	4	3	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	65	28	5	3	100(3,682)
	K 3	69	25	5	2	100(1,858)
	M 1	62	30	5	3	100(1,824)

#2.11 好きなくらし方か人のためか

[リスト] あなたは、つぎの2つの暮らし方のうち、どちらに賛成ですか？

1	人のためにならなくても、自分の好きなことをしたい	
2	自分の好きなことかどうかはともかく、人のためになることをしたい	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 好自 き分 なの こ と	2 人 なの るた こめ とに	3 他	4 D. K.	計
VI (1978)	M 6	35	55	5	5	100 (1, 913)
VII (1983)	K21a	37	55	4	5	100 (2, 256)
VIII (1988)	K+M	42	49	4	4	100 (3, 682)
	K19	40	52	5	4	100 (1, 858)
	M10	44	47	4	5	100 (1, 824)

#2.13 将来に備えるか楽しむか

[リスト] 若いときは、将来に備えるための時期であり、また、楽しむための時期でもあると思います。あなたはそのどちらの方に重点をおくべきだと思いますか？

1	将来に備える方に重点をおくべきだ	
2	楽しむ方に重点をおくべきだ	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 備将 え来 るに 方	2 楽し む 方	3 他	4 D. K.	計
VI (1978)	M7	72	23	2	3	100 (1, 913)
VIII (1988)	K20	69	27	3	2	100 (1, 858)

#2.31 関心度

[リスト] あなたは、つぎの項目について、どの程度関心をお持ちですか？

- a まず、「定年や老後の問題」には、どの程度でしょうか？
- b では、「レジャーや余暇」については、どの程度でしょうか？
- c では、「株」については、どの程度でしょうか？
- d では、「科学技術」については、どうでしょうか？
- e では、「日本の防衛問題」についてはどうでしょうか？

- 1 あまり関心がない
- 2 関心があるといえるだろう
- 3 非常に関心がある
- 4 その他 [記入]
- 5 D. K.

		1	2	3	4	5	
問		あ 関 ま 心 り が な い	い 関 え 心 る が だ あ ろ る う と	非 関 常 心 に が あ る	他	D.K.	計
VIII (1988)	M26a 定年老後	19	40	40	0	2	100(1,824)
	M26b 余暇	20	46	32	0	2	100(1,824)
	M26c 株	77	15	6	0	2	100(1,824)
	M26d 科学技術	51	33	13	0	3	100(1,824)
	M26e 防衛問題	43	38	16	0	3	100(1,824)

§ 3 宗 教

#3.1 宗教を信じるか

宗教についておききたいのですが、

たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを持っていますか？

- | |
|-----------------------|
| 1 もっている、信じている |
| 2 もっていない、信じていない、関心がない |

	問	1 信 じ て い る	2 信 じ て い な い	計
I (1953)	×			
II (1958)	16a	35	65	100(920)
III (1963)	28a	31	69	100(2, 698)
IV (1968)	33a	30	70	100(3, 033)
V (1973)	K19a	25	75	100(3, 055)
VI (1978)	K11a	34	66	100(2, 032)
VII (1983)	K15a	32	68	100(2, 256)
VIII (1988)	K13a	31	69	100(1, 858)

#3.2 「宗教心」は大切か

b それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか、それとも大切だとは思いませんか？

- | |
|-----------|
| 1 大切 |
| 2 大切でない |
| 3 その他〔記入〕 |
| 4 D. K. |

	問	1 大 切	2 大 切 で な い	3 他	4 D. K.	計
VII(1983)	K15b	80	11	5	4	100(2,256)
VIII(1988)	K13b	72	15	8	5	100(1,858)

注) II(1958)～VI(1978)では前問 #3.1 の答が 2 の人のみに質問、
VII(1983)調査以降は全員に質問した。

#3.9 首相の伊勢参り

あたらしく総理大臣になったとき、伊勢の皇大神宮にお参りに行く人がありますが、あなたはこのことをどう思いますか？

1	行かねばならぬ
2	行った方がよい
3	本人の自由だ
4	行かない方がよい
5	行くべきではない
6	その他〔記入〕
7	D. K.

	問	1 行 か な ら ば ぬ	2 行 っ た よ 方 が い い	3 本 人 の 自 由	4 行 か な い 方 が よ い	5 行 く は べ き で は な い	6 他	7 D ・ K	計
I (1953)	14	7	50	23	6	2	2	10	100(2,254)
II (1958)	110	5	33	27	12	5	2	16	100(1,449)
III (1963)	10	4	28	41	9	5	3	10	100(2,698)
IV (1968)	11	3	28	33	14	6	6	10	100(3,033)
V (1973)	K14	4	21	48	10	5	3	9	100(3,055)
VI (1978)	K 7	3	17	51	7	5	8	9	100(2,032)
VII (1983)	M 6	2	19	52	6	4	9	8	100(2,173)
VIII (1988)	K 9	2	16	59	6	4	7	6	100(1,858)

§ 4 子供・家

§ 4.1 子供

#4.4 先生が悪いことをした

「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれがほんとうであることを知っている場合、子供には

「そんなことはない」

といった方がよいと思いますか、それとも

「それはほんとうだ」

といった方がよいと思いますか？

- | | |
|---|-------------|
| 1 | そんなことはないという |
| 2 | ほんとうだという |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D. K. |

	問	1 はそ なん いな いとこ うと	2 本 当 とだ い う	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	9	38	42	13	7	100(2,254)
II (1958)	6	38	40	11	11	100(920)
III (1963)	4	33	50	10	8	100(2,698)
IV (1968)	4	29	52	11	7	100(3,033)
V (1973)	K 5	31	54	6	8	100(3,055)
VI (1978)	K 4	27	57	8	8	100(2,032)
VII (1983)	K 4	26	59	9	6	100(2,256)
VIII (1988)	K 5	23	62	9	6	100(1,858)

#4.5 子供に「金は大切」と教える

小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。
「小さいときから、お金は人にとって、いちばん大切なものだとかえるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成
2 反対
3 いちがいにはいえない
4 その他 [記入]
5 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 はい いち えが ない いに	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	24 ₀ 1	65	24	9	0	2	100(2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	5	60	23	15	1	1	100(2,698)
IV (1968)	5	57	28	12	1	2	100(3,033)
V (1973)	K 6	44	38	17	1	1	100(3,055)
VI (1978)	K 5	45	40	13	1	2	100(2,032)
VII (1983)	K+M	43	42	13	1	1	100(4,429)
	K 5	43	42	13	1	1	100(2,256)
	M 4	43	41	14	1	1	100(2,173)
VIII (1988)	K 6	35	47	16	1	1	100(1,858)

§ 4.2 家

#4.10 他人の子供を養子にするか

子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか？

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | つがせた方がよい |
| 2 | つがせないでもよい、意味がない |
| 3 | 場合による |
| 4 | その他〔記入〕 |
| 5 | D. K. |

	問	1 つ が せ る	2 つ が せ な い	3 場 合 に よ る	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	28♂1	74	16	7	1	3	100(2,254)
II (1958)	106	63	21	8	1	7	100(1,449)
III (1963)	2	51	32	12	1	4	100(2,698)
IV (1968)	2	43	41	9	2	5	100(3,033)
V (1973)	K 3	36	41	17	1	5	100(3,055)
VI (1978)	K 3	33	48	12	1	7	100(2,032)
VII (1983)	M 3	27	51	15	2	5	100(2,173)
VIII (1988)	K 2	28	52	15	2	3	100(1,858)

#4.11 先祖を尊ぶか

あなたはどちらかといえば、先祖を尊ぶ方ですか、それとも尊ばない方ですか？

1 尊ぶ
2 普通
3 尊ばない方
4 その他 [記入]
5 D. K.

	問	1 尊 ぶ	2 普 通	3 尊 ば な い 方	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	3	77	15	5	1	2	100(2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	×						
IV (1968)	×						
V (1973)	K20	67	21	10	1	1	100(3,055)
VI (1978)	K10	72	16	10	1	1	100(2,032)
VII (1983)	K14	71	15	13	1	1	100(2,256)
VIII (1988)	K12	66	21	12	1	1	100(1,858)

#4.13 就職のとき

[リスト] 学校を卒業して、仕事のため、家から離れて行く自分の子供に、2人の親がつぎのように言いました。親としては、どちらの言い方がよいと思いますか？

1	こまったことがあったら、まず親に相談しなさい	
2	今後はこまったことがあっても、親を頼りにしてはいけない	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 相 談 し な さ い	2 頼 る な	3 他	4 D. K.	計
V (1973)	M15a	58	37	2	3	100(1,539)
VI (1978)	M12a	67	30	2	1	100(1,913)
VIII (1988)	M13a	61	36	2	2	100(1,824)

#4.13b 嫁入りのとき

[同じリスト] では、娘が嫁に行く場合は、どちらがよいと思いますか？

1	こまったことがあったら、まず親に相談しなさい	
2	今後はこまったことがあっても、親を頼りにしてはいけない	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 相 談 し な さ い	2 頼 る な	3 他	4 D. K.	計
V (1973)	M15b	54	42	1	3	100(1,539)
VI (1978)	M12b	57	39	2	2	100(1,913)
VIII (1988)	M13b	59	37	2	2	100(1,824)

§ 5 身近な社会

#5.1 恩人がキトクするとき

[絵を見せながら] 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させてもらいました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受けとったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。

[ここでリストを見せる] あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい？

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | なにをおいても、すぐ故郷へ帰る |
| 2 | 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 故郷へ帰る	2 会議に出る	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	41	54	41	1	4	100(2,254)
II (1958)	111a	50	39	2	9	100(1,449)
III (1963)	13a	46	46	2	5	100(2,698)
IV (1968)	15a	46	47	2	5	100(3,033)
V (1973)	K21a	51	40	2	8	100(3,055)
VI (1978)	K15a	51	42	2	5	100(2,032)
VII (1983)	K+M	52	41	2	5	100(4,429)
	K16a	52	41	3	4	100(2,256)
	M16a	52	41	2	5	100(2,173)
VIII (1988)	K14a	52	41	3	4	100(1,858)

#5.1b 親がキトクするとき

[質問 a と同じ絵、同じリストで] いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか、どちらかえらんで下さい？

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | なにをおいてもすぐ故郷へ帰る |
| 2 | 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 故郷 へ帰 る	2 会 議 に 出 る	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	42	49	48	1	3	100 (2, 254)
II (1958)	111b	50	41	2	7	100 (1, 449)
III (1963)	13b	45	47	2	6	100 (2, 698)
IV (1968)	15b	44	49	3	4	100 (3, 033)
V (1973)	K21b	51	41	2	7	100 (3, 055)
VI (1978)	K15b	49	44	1	5	100 (2, 032)
VII (1983)	K+M	49	45	2	4	100 (4, 429)
	K16b	49	45	2	3	100 (2, 256)
	M16b	49	45	2	4	100 (2, 173)
VIII (1988)	K14b	53	41	2	4	100 (1, 858)

#5.1 恩人がキトクするとき×#5.1b 親がキトクするとき

	恩人	1 故郷	2 故郷	3 会議	4 会議	5 その他 組合の せ	計
	親	会議	故郷	故郷	会議		
I (1953)	41. 42	15	38	9	31	6	100(2,254)
II (1958)	111 ab	11	37	10	27	14	100(1,449)
III (1963)	13 ab	10	34	10	35	11	100(2,698)
IV (1968)	15 ab	13	32	11	35	9	100(3,033)
V (1973)	K21 ab	9	40	8	30	12	100(3,055)
VI (1978)	K15 ab	12	38	9	31	9	100(2,032)
VII (1983)	K+M	13	38	9	31	9	100(4,429)
	K16 ab	12	38	9	31	9	100(2,256)
	M16 ab	13	37	10	31	9	100(2,173)
VIII (1988)	K14 ab	10	41	10	30	10	100(1,858)

#5.1c-1入社試験

[リスト] あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。
あなたはどちらをとれ（採用しろ）といますか？

1	1番の人を採用するようい
2	親戚を採用するようい
3	その他 [記入]
4	D. K.

	問	1 1 番 の 人	2 親 戚 の 人	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20a	75	19	2	4	100(2,698)
IV (1968)	22a	78	17	2	4	100(3,033)
V (1973)	K+M	73	19	1	7	100(4,594)
	K28a	73	19	1	7	100(3,055)
	M16a	72	19	2	7	100(1,539)
VI (1978)	K21a	72	23	2	4	100(2,032)
VII (1983)	K+M	70	23	3	4	100(4,429)
	K22a	71	23	2	4	100(2,256)
	M21a	70	23	3	4	100(2,173)
VIII (1988)	K21a	70	24	3	3	100(1,858)

#5. 1c-2入社試験

[つぎのリスト] それでは、このばあい、2番になったがあなたの親戚の子供でなくて、あなたの恩人の子供だったとしたら、あなたは どうしますか？（どちらをとれといいますか？）

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 1番の人を採用するようにいう |
| 2 | 恩人の子供を採用するようにいう |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 1 番 の 人	2 恩 人 の 子	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	×					
II (1958)	×					
III (1963)	20b	48	44	2	6	100(2,698)
IV (1968)	22b	54	39	2	5	100(3,033)
V (1973)	K+M	52	38	2	8	100(4,594)
	K28b	52	39	2	7	100(3,055)
	M16b	52	38	1	9	100(1,539)
VI (1978)	K21b	47	46	2	5	100(2,032)
VII (1983)	K+M	46	47	2	5	100(4,429)
	K22b	46	47	2	5	100(2,256)
	M21b	47	46	3	5	100(2,173)
VIII (1988)	K21b	45	49	3	4	100(1,858)

#5.1c-1入社試験（親戚）×#5.1c-2入社試験（恩人の子）

	親 戚	1 番	2 親 戚	3 親 戚	4 1 番	5 そ の 他 組 合 の せ	計
	の恩 子人	恩 人	恩 人	1 番	1 番		
I (1953)	×						
II (1958)	×						
III (1963)	20 ab	25	17	2	46	10	100(2,698)
IV (1968)	22 ab	23	14	2	52	10	100(3,033)
V (1973)	K+M	20	17	2	50	13	100(4,594)
	K28 ab	20	17	2	50	12	100(3,055)
	M16 ab	21	16	2	49	13	100(1,539)
VI (1978)	K21 ab	25	20	2	45	8	100(2,032)
VII (1983)	K+M	24	21	2	44	9	100(4,429)
	K22 ab	24	21	2	44	9	100(2,256)
	M21 ab	23	20	2	44	10	100(2,173)
VIII (1988)	K21 ab	26	21	2	42	9	100(1,858)

#5.1d 大切な道徳

[リスト] つぎのうち、大切なことを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか？

- 1 親孝行をすること
- 2 恩返しをすること
- 3 個人の権利を尊重すること
- 4 自由を尊重すること
- 5 その他〔記入〕
- 6 D. K.

	問	1 親 孝 行	2 恩 返 し	3 権 利 尊 重	4 自 由 尊 重	5 他	6 D. K.	計 (複数回答)
I (1953)	×							
II (1958)	×							
III (1963)	17	60	43	49	40	1	2	(2,698)
IV (1968)	20	61	45	44	46	0	2	(3,033)
V (1973)	K26	63	43	45	43	1	2*	(3,055)
VI (1978)	K18	70	47	38	39	0	2	(2,032)
VII (1983)	K19	73	50	36	37	0	1	(2,256)
VIII (1988)	K17	71	47	36	42	0	1	(1,858)

*3つ以上えらんだものはD. K.に入れた。

#5.1d 大切な道德の組合せ

	問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
		孝 行 × 恩 返	孝 行 × 権 利	孝 行 × 自 由	恩 返 × 権 利	恩 返 × 自 由	権 利 × 自 由	は孝 恩行 返の のみ み又	は権 自利 の由 のみ み又	そ のの 組他 の合 せ	
I (1953)	×										
II (1958)	×										
III (1963)	17	28	19	12	8	7	21	1	1	3	100(2,698)
IV (1968)	20	28	15	18	8	8	20	1	1	2	100(3,033)
V (1973)	K26	28	17	16	8	6	20	1	1	3	100(3,055)
VI (1978)	K18	34	17	19	7	7	14	1	0	2	100(2,032)
VII (1983)	K19	36	18	18	6	7	12	1	0	1	100(2,256)
VIII (1988)	K17	34	16	21	6	7	14	1	1	1	100(1,858)

#5.6 めんどうをみる課長

[リスト] ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長につかわれる方がよいと思いますか、どちらか1つあげてください？

- | | |
|---|---|
| 1 | 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは人のめんどうを見ません |
| 2 | 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事のこと以外でも人のめんどうをよく見ます |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 め ん みど なう いを	2 め ん ど みう るを	3 他	4 D. K.	計
I (1953)	35	12	85	1	2	100(2,254)
II (1958)	117	14	78	2	7	100(1,449)
III (1963)	21	13	82	1	5	100(2,698)
IV (1968)	23	12	84	1	4	100(3,033)
V (1973)	K29	13	81	1	5	100(3,055)
VI (1978)	K22	10	87	1	3	100(2,032)
VII (1983)	K+M	9	89	1	2	100(4,429)
	K23	8	89	0	2	100(2,256)
	M22	9	88	1	2	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	10	87	1	2	100(3,682)
	K22	10	88	1	2	100(1,858)
	M18	10	87	1	3	100(1,824)

#5.6c 嫌いな旅行—いくべきか

[リスト] 会社のレクリエーションの行事について、従業員の希望をしらべたところ、一泊旅行と決まりました。こんなとき、旅行は嫌いで、他の希望をのべた社員はどうすべきでしょうか？

1 いやなら参加しなくてもよい	2 いやでも参加すべきだ
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 参 て加 もし よな いく	2 参 加 す べ き	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K25a	54	44	1	1	100(2,032)
VIII(1988)	M19a	52	45	1	2	100(1,824)

#5.6d 嫌いな旅行—世間では

[リスト] 世間ではこんな場合、いやなら参加しない人と、いやでも参加する人と、どちらが多いと思いますか？

1 『いやなら参加しない人』が多い	2 『いやでも参加する人』が多い
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 し参 な加 い 人	2 参 す加 る 人	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K25b	39	55	1	5	100(2,032)
VIII(1988)	M19b	35	60	1	4	100(1,824)

§ 6 男女の差異

#6.2 男・女の生まれかわり

もういちど生まれかわるとしたら、あなたは男と女の、どちらに、生まれてきたいと思いますか？

1 男に	2 女に	3 その他 [記入]	4 D. K.
------	------	------------	---------

		問	1 男 に	2 女 に	3 他	4 D. K.	計
男 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	90	5	4	1	100(684)
	III (1963)	1a	88	7	3	2	100(1, 252)
	IV (1968)	1a	89	5	4	2	100(1, 427)
	V (1973)	K+M	89	5	2	3	100(2, 063)
		K1a	89	6	2	4	100(1, 395)
		M1a	90	5	3	3	100(668)
	VI (1978)	M1a	90	4	3	3	100(832)
	VII (1983)	K 1	90	5	3	2	100(988)
	VIII (1988)	K 1	90	4	4	2	100(837)
女 の み	I (1953)	×					
	II (1958)	103	64	27	6	3	100(765)
	III (1963)	1a	55	36	5	4	100(1, 446)
	IV (1968)	1a	43	48	4	5	100(1, 606)
	V (1973)	K+M	42	51	3	4	100(2, 531)
		K1a	42	51	3	4	100(1, 660)
		M1a	43	50	3	5	100(871)
	VI (1978)	M1a	41	52	3	4	100(1, 081)
	VII (1983)	K 1	39	56	3	2	100(1, 268)
	VIII (1988)	K 1	34	59	5	2	100(1, 021)

#6.2e 男の子と女の子

子供を一人だけもつとしたら、男の子の方がよいですか、女の子の方がよいですか、それとも、どちらでもよいですか？

1 男の子	2 女の子
3 どちらでもよい	
4 その他 [子供はいらない、など]	5 D. K.

	問	1 男 の 子	2 女 の 子	3 ど ち ら も よ い	4 他	5 D. K.	計
VIII(1988)	M 2	32	29	37	1	1	100(1,824)

#6.5 男女の能力差

生まれつき、物事を考えたり、まとめたりする能力は、男と女で差があると思いますか？

1 差あり	2 差なし	3 その他 [記入]	4 D. K.
-------	-------	------------	---------

	問		1 差 あ り	2 差 な し	3 他	4 D. K.	計
II(1958)	120	男女	62	31	2	5	100(684)
			63	28	2	7	100(765)
VIII(1988)	M 5	男女	55	41	2	3	100(805)
			53	41	3	4	100(1,019)

#6.6 年下の上役と女の上役

あなたは、職場の自分の上役が年下の場合と、自分の上役が女性の場合とでは、どちらがいやだと思いますか？

- | | |
|---|-------------|
| 1 | 年下の上役の方がいやだ |
| 2 | 女性の上役の方がいやだ |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 年 下 が い や	2 女 性 が い や	3 他	4 D. K.	計
VIII (1988)	M 7	36	38	17	9	100 (1,824)

§ 7 一般の社会的問題

#7.1 人間らしさはへるか

こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発達して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなっていく」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

1 賛成 [人間らしさはへる]
2 いちがいにはいえない
3 反対 [人間らしさ、不変、ふえる]
4 その他 [記入]
5 D. K.

	問	1 賛 成	2 はい いち えが ない に	3 反 対	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	5	30	17	35	1	17	100(2,254)
II (1958)	3	33	17	34	0	16	100(920)
III (1963)	6	38	22	28	1	12	100(2,698)
IV (1968)	7	40	16	35	1	8	100(3,033)
V (1973)	K10	50	21	22	1	6	100(3,055)
VI (1978)	K 2	43	21	30	1	5	100(2,032)
VII (1983)	K+M	48	20	28	1	4	100(4,429)
	K 3	46	19	30	1	3	100(2,256)
	M 2	49	20	26	1	4	100(2,173)
VIII (1988)	K 4	47	24	26	1	3	100(1,858)

#7.2 心の豊かさはへらないか

こういう意見があります。

「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ（人間らしさ）はへりはない」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか？

- 1 反対 [へる]
- 2 いちがいにいえない
- 3 賛成 [へらない]
- 4 その他 [記入]
- 5 D. K.

	問	1 反 へ る 対	2 い いち えが ない いに	3 賛 へ ら な い成	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	29	17	8	58	1	16	100(2,254)
II (1958)	24	21	10	53	1	16	100(920)
III (1963)	12	18	19	49	1	13	100(2,698)
IV (1968)	13	22	13	56	1	9	100(3,033)
V (1973)	K18	31	20	42	1	7	100(3,055)
VI (1978)	K12	25	15	53	1	6	100(2,032)
VII (1983)	M 8	31	17	46	1	5	100(2,173)
VIII (1988)	K27	33	22	42	1	3	100(1,858)

#7.2b 21世紀の世の中

[リスト]あと10年余りで、21世紀になります。21世紀を迎えるころ、科学や技術は非常に進歩しているでしょうが、世の中はどうなっていると思いますか。つぎのうちのどれに近いと思いますか？

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | いまより、イヤなことや不愉快なことがふえるだろう |
| 2 | いまより、イヤなことや不愉快なことはへっているだろう |
| 3 | イヤなことや不愉快なことは、いまと変わらないだろう |
| 4 | その他 [記入] |
| 5 | D. K. |

	問	1 不 愉 快 ふな えこ ると	2 不 愉 快 な へこ ると	3 変 わ ら な い	4 他	5 D. K.	計
IV (1968)	14	24	15	53	1	7	100 (3,033)
VIII (1988)	M28	41	9	43	0	6	100 (1,824)

#7.4 日本と個人の幸福

[リスト] あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか。1つだけあげてください？

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1 | 個人が幸福になって、はじめて日本全体がよくなる |
| 2 | 日本がよくなって、はじめて個人が幸福になる |
| 3 | 日本がよくなることも、個人が幸福になることも同じである |
| 4 | その他 [記入] |
| 5 | D. K. |

	問	1 個人 ↓ 日本	2 日 本 ↓ 個 人	3 日 本 個 人	4 他	5 D. K.	計
I (1953)	45	25	37	31	1	6	100(2,254)
II (1958)	×						
III (1963)	16	30	30	34	0	7	100(2,698)
IV (1968)	19	27	32	36	1	5	100(3,033)
V (1973)	K25	30	26	37	0	6	100(3,055)
VI (1978)	K17	27	27	41	0	4	100(2,032)
VII (1983)	K18	25	30	40	1	4	100(2,256)
VIII (1988)	K16	29	25	42	1	4	100(1,858)

#7.4b 国の繁栄と国民の生活

[リスト] 国の繁栄ということについて、つぎの2つの意見があります。
あなたはどちらの意見に賛成ですか？

- | | |
|---|--|
| 1 | 国が繁栄しても、一部の人がもうけるばかりで、国民ひとりひとりの生活はよくなる |
| 2 | 国が繁栄すれば、国民ひとりひとりの生活もよくなる |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 よ く な ら な い	2 よ く な る	3 他	4 D. K.	計
VI (1978)	M20	37	57	1	5	100 (1,913)
VII (1983)	K30	33	63	1	3	100 (2,256)
VIII (1988)	K29	47	48	1	3	100 (1,858)

#7.19 才能か運か

いまの社会で成功している人を見て、その人の成功には、個人の才能や努力と、運やチャンスのどちらが大きな役割をはたしていると思いますか？

1 個人の才能や努力	2 運やチャンス
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 才 能 や 努 力	2 運 や チャン ス	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M 2	45	38	9	8	100(1,913)
VII(1988)	M 6	49	35	12	5	100(1,824)

#7.21e 無理して金をかせぐか

「これからの世の中は、どんな無理をしてもお金をかせぐ必要がある」という意見がありますが、あなたは、そう思いますか、それとも、そう思いませんか？

1 そう思う〔必要がある〕	2 そう思わない
3 その他〔記入〕	4 D. K.

	問	1 そ う 思 う	2 思 そ わ う な い	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M4e	53	41	2	4	100(1,913)
VII(1988)	M16a	50	44	3	3	100(1,824)

#7.22 万事金か

[リスト] では、「たいていのことは金でなんとかなる」という意見には、賛成ですか、反対ですか？

1	賛成
2	やや賛成
3	やや反対
4	反対
5	その他 [記入]
6	D. K.

	問	1 賛 成	2 や や 賛 成	3 や や 反 対	4 反 対	5 他	6 D. K.	計
VI(1978)	M11b	12	18	20	47	1	2	100(1,913)
VII(1988)	M16b	11	31	24	32	1	1	100(1,824)

#7.23 事故と先生—本人の意見

a [リスト] 中学生が先生の引率で旅行に行ったところ、ある生徒が夜中に1人で外出して自動車にひかれたとします。つぎの意見のうち、あなたの意見に近いのはどちらですか？

1	学校の旅行中に起きた事故だから、先生に責任がある	
2	その生徒は夜中に1人で外出したのだから、先生には責任はない	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 責 あ任 るが	2 責 な任 いは	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M13a	37	54	5	4	100(1,913)
VII(1983)	K28a	41	51	4	3	100(2,256)
VIII(1988)	K26a	41	51	4	4	100(1,858)

#7.23b 事故と先生—一般の親は

b [同じリスト] では、一般に多くの親たちの意見は、どちらだと思えますか？

1	学校の旅行中に起きた事故だから、先生に責任がある	
2	その生徒は夜中に1人で外出したのだから、先生には責任はない	
3	その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 責 あ任 るが	2 責 な任 いは	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	M13b	75	17	2	6	100(1,913)
VII(1983)	K28b	83	13	2	2	100(2,256)
VIII(1988)	K26b	82	13	2	3	100(1,858)

#7.24 就職の第1の条件

a [リスト]ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。

あなたは、どれに1番関心がありますか？

- | | |
|---|------------------|
| 1 | かなりよい給料がもらえること |
| 2 | 倒産や失業の恐れがない仕事 |
| 3 | 気の合った人たちと働くこと |
| 4 | やりとげたという感じがもてる仕事 |
| 5 | その他 [記入] |
| 6 | D. K. |

	問	1 よ い 給 料	2 失 業 の 恐 れ い れ	3 気 の 合 う 間	4 や り と げ た 仕 事 の	5 他	6 D. K.	計
VI(1978)	K24a	7	23	30	38	0	2	100(2,032)
VII(1983)	K+M	7	17	33	40	1	2	100(4,429)
	K25	7	16	33	42	1	2	100(2,256)
	M23	8	19	33	37	1	2	100(2,173)
VIII(1988)	K+M	10	16	36	36	1	2	100(3,682)
	K24	10	14	35	39	1	1	100(1,858)
	M17	10	17	36	34	1	2	100(1,824)

注) リポート46では#8.10に分類

#7.25 お金と仕事

〔リスト〕仕事について、つぎの2つの意見があります。どちらがあなたの気持ちに近いですか？

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | いくらお金があっても、仕事がなければ、人生はつまらない |
| 2 | お金があれば、仕事がなくても、人生がつまらないとは思わない |
| 3 | その他〔記入〕 |
| 4 | D. K. |

	問	1 ば仕 つ事 まが らな なけ いれ	2 仕 事 が もな よく いて	3 他	4 D. K.	計
VII (1983)	K24	83	14	1	2	100(2,256)
VIII (1988)	K+M	77	19	1	2	100(3,682)
	K23	80	18	1	2	100(1,858)
	M11	75	21	2	3	100(1,824)

#7.29 くらしむき

[リスト] 現在のお宅のくらしむきは、次の5つに分けるとすれば、どれに当たるでしょうか？

1 非常に豊か	2 やや豊か
3 ふつう	4 やや貧しい
5 非常に貧しい	
6 その他 [記入]	7 D. K.

	問	1 非 常 豊 か	2 や や 豊 か	3 ふ つ う	4 や や 貧 し い	5 非 常 貧 し い	6 他	7 D ・ K	計
VIII(1988)	M12	1	11	72	14	2	0	0	100(1,824)

#7.29b たけのこ生活

[リスト] 仮りの話ですが、もし何かの事情で貯金や財産だけで生活しなければいけなくなったとしたら、お宅は、何年位生活できると思いますか？

1 1年未満	2 1～2年	3 3～5年
4 6～9年	5 10年以上	
6 その他 [記入]		7 D. K.

	問	1 1 年 未 満	2 1 2 年	3 3 5 年	4 6 9 年	5 10 以 上	6 他	7 D ・ K	計
VIII(1988)	M24	26	23	20	9	11	2	11	100(1,824)

#7.30a 生活水準 10 年の変化

[リスト] あなたの生活水準は、この 10 年間でどう変わりましたか？

1 よくなった	2 ややよくなった
3 変わらない	4 ややわるくなった
5 わるくなった	
6 その他 [記入]	7 D. K.

	問	1 よ く な っ た	2 よ や く や な っ た	3 変 ら な い	4 わ や る や く な っ た	5 わ る な っ た	6 他	7 D ・ K	計
VII (1983)	M14a	17	32	35	10	4	0	1	100(2,173)
VIII (1988)	M25	10	31	43	10	4	0	2	100(1,824)

#7.37 自分だけとり残されているか

あなたは、これまでに、「自分が世の中の動きからとり残されている」と感じたことがありますか？

1 ある	2 ない
3 その他 [記入]	4 D. K.

	問	1 あ る	2 な い	3 他	4 D.K.	計
VIII (1988)	M 8	33	63	1	2	100(1,824)

#7.38 努力は報われるか

[リスト] 自分の目標に向かって努力することについてつぎの2つの意見があります。あなたの意見はどちらに近いですか？

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | まじめに努力していれば、いつかは必ず報われると思う |
| 2 | いくら努力しても、全く報われないことが多いと思う |
| 3 | その他 [記入] |
| 4 | D. K. |

	問	1 報 わ れ る	2 報 わ れ な い	3 他	4 D. K.	計
VIII (1988)	M14	79	17	2	2	100 (1,824)

#7.39a 社会のために働く人

[リスト] あなたは、つぎのような人をどう思いますか。

まず、「自分のことは全く考えないで、他人のため、社会のために働く人」はどう思いますか？

1 えらいと思うし、好きだ	2 えらいと思うが、好きではない
3 えらいと思わないが、好きだ	4 えらいと思わないし、好きでもない
5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 え ら 好 い き し	2 好 え き ら な い は が	3 い え が ら 好 く き な	4 好 え き ら な で く い も も	5 他	6 D. K.	計
VIII (1988)	M15a	40	35	11	10	1	4	100 (1,824)

#7.39b 仕事に打ちこむ人

[同じリスト] では、「まわりの人から変わり者と言われながら、自分の好きな仕事に打ちこんでいる人」はどう思いますか？

1 えらいと思うし、好きだ	2 えらいと思うが、好きではない
3 えらいと思わないが、好きだ	4 えらいと思わないし、好きでもない
5 その他 [記入]	6 D. K.

	問	1 え ら 好 い き し	2 好 え き ら な い は が	3 い え が ら 好 く き な	4 好 え き ら な で く い も も	5 他	6 D. K.	計
VIII (1988)	M15b	35	23	21	15	2	4	100 (1,824)

§ 8 政治的態度

#8.1b 政治家にまかせるか

こういう意見があります。

「日本の国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりは、その人にまかせる方がよい」

というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか？

- 1 賛成 [まかせる]
- 2 反対 [まかせっきりはいけない]
- 3 その他 [記入]
- 4 D. K.

	問	1 賛 成	2 反 対	3 他	4 D. K.	計
VI(1978)	K 8	32	58	2	7	100(2,032)
VII(1983)	K+M	33	60	3	5	100(4,429)
	K10	33	60	2	5	100(2,256)
	M 7	32	59	3	5	100(2,173)
VIII(1988)	K 8	30	61	4	5	100(1,858)

#8.6 選挙への関心

[リスト] あなたは衆議院の総選挙があるとき、ふつうはどうしますか？

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | なにをおいても投票する |
| 2 | なるべく投票するようにつとめる |
| 3 | あまり投票する気にならない |
| 4 | ほとんど投票しない |
| 5 | その他 [記入] |
| 6 | D. K. |

	問	1 な てに もを 投お 票い	2 な る る べ い 票	3 ら す な る い に 票	4 あ 票 ほ ま し と な ん い ど 票	5 他	6 D. K.	計
I (1953)	×							
II (1958)	34 134	62	32	3	2	1	1	100(2,369)
III (1963)	33	53	41	4	1	0	1	100(2,698)
IV (1968)	38	51	44	4	1	0	0	100(3,033)
V (1973)	K39	41	50	6	2	0	0	100(3,055)
VI (1978)	M18	45	47	5	3	0	0	100(1,913)
VII (1983)	M31	39	48	9	3	0	0	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	34	50	10	5	0	0	100(3,682)
	K28	32	52	10	6	0	0	100(1,858)
	M21	36	49	10	5	0	0	100(1,824)

#8.7 支持政党

あなたは何党を支持していらっしゃいますか？

1 自民党	2 民社党	3 社会党
4 共産党	5 公明党	6 新自由クラブ
7 社会民主連合	8 支持政党なし(1988年では9その他と入れ替わる)	
9 その他 [具体的に記入]	10 D. K.	

	問	1 自 民 党	2 民 社 党	3 社 会 党	4 共 産 党	5 公 明 党	6 新 自 由 ク ラ ブ	7 社 会 主 義 連 合	8* 支 持 政 党 な し	9* 他 他	10 D ・ K	計
I (1953)	58	40	-	23	0	-	-	-	20	5	12	100(2,254)
II (1958)	35 135	38	-	30	0	-	-	-	20	1	10	100(2,369)
III (1963)	35	43	3	22	0	2	-	-	22	1	7	100(2,698)
IV (1968)	39	41	4	22	2	4	-	-	21	3	4	100(3,033)
V (1973)	K+M	33	3	17	3	4	-	-	33	2	6	100(4,594)
	K40	35	3	17	3	4	-	-	31	2	5	100(3,055)
	M28	30	2	17	3	3	-	-	37	1	7	100(1,539)
VI (1978)	K+M	34	3	14	3	4	1	-	34	2	5	100(3,945)
	K31	35	3	14	2	4	1	-	34	2	5	100(2,032)
	M26	34	2	14	3	5	2	-	33	2	5	100(1,913)
VII (1983)	K+M	39	4	13	3	4	1	0	32	1	4	100(4,429)
	K	39	4	12	3	5	0	0	33	1	3	100(2,256)
	M	39	4	13	3	4	1	0	31	1	4	100(2,173)
VIII (1988)	K+M	36	2	14	2	3	-	0	38	1	4	100(3,682)
	K	36	2	14	2	3	-	0	39	1	3	100(1,858)
	M	36	2	15	2	4	-	0	36	1	4	100(1,824)

第I次調査では、1:自民党と改進黨、3:左右社会党

第VIII次調査では、6:社会民主連合、7:その他、8:支持政党なし、9:D. K.

#8.9 社会不満の表し方

「リスト」仮りに、あなたが社会に対して不満があるとします。その場合、あなたはどのような態度をとりますか？

- 1 選挙で投票するときに、考慮する
- 2 合法的な陳情、署名あつめ、デモ、ストライキなどをする
- 3 場合によっては、非合法の手段をとることもありうる
- 4 たとえ不満があっても、別になにもしない
- 5 その他〔記入〕
- 6 D. K.

	問	1 選 挙 で 考 慮	2 合 法 的 に	3 場 合 非 に 合 よ 法 り も	4 な に も し な い	5 他	6 D. K.	計
VI(1978)	M24	37	15	4	38	1	5	100(1,913)
VII(1988)	M22	42	6	3	46	1	3	100(1,824)

§ 9 日本人・人種

#9.1 日本人の性格（長所）

[リスト] つぎのうち、日本人の性質をあらわしていると思うコトバがあったら、いくつでもあげてください？

1 合理的	2 勤勉	3 自由を尊ぶ
4 淡泊	5 ねばり強い	6 親切
7 独創性にとむ	8 礼儀正しい	9 明朗
10 理想を求める	11 その他 [記入]	12 D. K.

	問	1 合理的 勉 勉	2 勤 勉	3 自由を尊ぶ	4 淡 白	5 ねばり強い	6 親 切	7 独 創	8 礼 儀	9 明 朗	10 理 想	11 他	12 あひ げと なつ いも D. K.	計 (複数回答)
I (1953)	×													
II (1958)	28 128	11	55	15	19	48	50	8	47	23	33	-	12	(2,369)
III (1963)	32a	8	60	10	15	55	42	7	43	14	24	1	9	(2,698)
IV (1968)	37a	11	61	12	13	58	45	8	47	13	23	1	5	(3,033)
V (1973)	K38a	13	66	9	14	52	31	7	37	9	21	1	6	(3,055)
VI (1978)	×													
VII (1983)	K31	22	69	17	12	61	42	11	47	12	30	1	2	(2,256)
VIII (1988)	K30	22	72	14	13	50	38	10	50	9	27			(1,858)

#9.12 日本の「科学技術の水準」

a 現在の日本は「科学技術の水準」という点では、つぎの4つのどれに当たると思いますか？

1 非常に よい	2 やや よい	3 やや わるい	4 非常に わるい	5 その他 [記入]	6 D. K.
-------------	------------	-------------	--------------	---------------	---------

	問	1 非 よ常 いに	2 や よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M25a	33	49	6	2	0	10	100(1,539)
VI (1978)	M22a	37	48	5	1	1	8	100(1,913)
VII (1988)	M27a	43	45	4	1	0	7	100(1,824)

#9.12b 日本の「芸術」

b では、「芸術」という点では、日本はどれでしょうか？

	問	1 非 よ常 いに	2 や よや いに	3 わや るや いに	4 わ非 る常 いに	5 他	6 D. K.	計
V (1973)	M25b	14	48	16	3	1	18	100(1,539)
VI (1978)	M22b	18	53	12	2	1	14	100(1,913)
VII (1988)	M27b	12	47	24	4	1	12	100(1,824)

#9.12c 日本の「経済力」

c では、「経済力」という点では、日本はどれでしょう？

1 非常に よい	2 やや よい	3 やや わるい	4 非常に わるい	5 その他	6 D. K.
					[記入]

	問	1 非 よ い に	2 や よ い	3 わ や る い	4 わ 非 よ い に	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M25c	25	42	19	5	1	8	100(1,539)
VI (1978)	M22c	24	43	19	5	0	9	100(1,913)
VIII (1988)	M27c	42	40	10	2	0	6	100(1,824)

#9.12d 日本の「生活水準」

d では、「生活水準」という点では、日本はどれでしょう？

	問	1 非 よ い に	2 や よ い	3 わ や る い	4 わ 非 よ い に	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M25d	10	42	32	10	1	5	100(1,539)
VI (1978)	M22d	11	52	25	7	1	4	100(1,913)
VIII (1988)	M27d	17	56	19	3	1	4	100(1,824)

#9.12e 日本の「心の豊かさ」

e では、「心の豊かさ」という点では、日本はどれでしょう？

	問	1 非 よ い に	2 や よ い	3 わ や る い	4 わ 非 よ い に	5 他	6 D.K.	計
V (1973)	M25e	6	33	40	14	1	6	100(1,539)
VI (1978)	M22e	6	39	37	11	2	5	100(1,913)
VIII (1988)	M27e	5	35	41	14	0	5	100(1,824)

#9.14 外国人との結婚

もし自分の子供が、「外国人と結婚したい」と言ったとしたら、あなたは、賛成しますか、それとも、反対しますか？

1 賛成する	2 反対する	
3 場合による	4 その他 [記入]	5 D. K.

	問	1 賛 成 す る	2 反 対 す る	3 場 合 に よ る	4 他	5 D. K.	計
VIII (1988)	M 3	29	37	28	4	2	100 (1,824)

#9.15 外国旅行の経験

あなたは、これまでに、外国に行ったことがありますか？

1 行ったことがある
2 行ったことはない
3 その他 [記入]
4 D. K.

	問	1 行 っ た あ こ り と	2 行 っ た な こ し と	3 他	4 D. K.	計
VIII (1988)	M 4	28	72	1	0	100 (1,824)

調査項目一覧表

(全国調査のみ)

§	項目		全 国								ページ	
	＝	見出し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)		
§1 基本項目	1.1	性	1	1 101	○	○	K M	K M	K M	K M	21	
	1.2	年齢	1	1 101	○	○	K M	K M	K M	K M	21	
	1.3	学歴	55	32a 132a	○	○	K M29	K M	K学歴 M学歴	K学歴 M学歴	22	
	1.4	職業	57	31a 131a	○	○	- -	K M	K職業 M職業	- -		
	1.4*	職業 (1.4をカテゴライズ)	-	-	-	-	K M30	- -	- -	- -		
	1.4b	職業	-	-	-	-	- -	- -	- -	K職業 aM職業 a	23	
	1.4c	職業	-	-	-	-	- -	- -	- -	K職業 bM職業 b	24	
	1.5	住所の市区部別	} サンプリング台帳より							K M	K M	25
	1.6	住所の地方別								K M	K M	26
	1.7	おくに(生まれ)	-	33 133	-	-	- -	- -	- -	- -		
1.8	帰属階層	-	- -	-	-	- -	- -	K33 M30	K32 M23	27		
1.9	所有(財産)	-	- -	-	-	- -	- -	K所有 M所有	K所有 M所有	28		
1.30	騒音	-	- -	-	-	- -	- -	- M29	- -			
§2 個人の 状態 度	2.1	しきりに従うか	4	7 107	7	8	K11 -	K6 -	K6 M5	K7 -	29	
	2.2	反対をおきって 実行	-	27 127	19	21	K27 -	- -	- -	- -		
	2.2b	スジかまるとか	-	- -	-	-	- -	K13 -	K27 -	K25 -	30	
	2.3	幸福か	-	20 -	-	-	- -	- -	- -	- -		
	2.3b	住所に満足か	2	- -	-	-	- -	- -	- -	- -		
	2.3c	家庭に満足か	-	- -	-	-	- M9a	- M5a	K32a -	- -		
	2.3d	社会に満足か	-	- -	-	-	- M9b	- M5b	K32b M19	K31b M20b	31	
	2.3f	生活環境満足か	-	- -	-	-	- -	- -	- M12	- -		
	2.3g	健康状態満足か	-	- -	-	-	- -	- -	- M13	- -		
	2.3h	暮し向き満足か	-	- -	-	-	- -	- -	- -	K31a M20a	31	
	2.4	くらし方	39	22 -	26	31	K34 -	K19 -	K20 M20	K18 M9	32	
	2.4*	くらし方 (2.4の答を変更)	-	- -	-	-	- M26	- -	- -	- -		
	2.5	自然と人間との関係	34	15 -	15	17	K23 M20	K16 -	K17 M17	K15 -	33	
	2.6	過去と将来	44	- -	-	18	K24 -	- -	- -	- -		
2.7	一番大切なもの	47	29 129	29	34	K41 -	K32 -	K13 -	K11 -	34		
2.7b	あなたの趣味は	-	- -	-	-	- -	- -	K12 -	K10 -	35		
2.8	一生働くか	-	- -	-	-	- M2	K1 -	K2 M1	K3 M1	36		
2.9	ムダにしているか	-	- -	-	-	- M6	- -	- -	- -			
2.10	幸福かためになる ことか	-	- -	-	-	- M11	- -	- -	- -			
2.11	好きなくらしか 人のためか	-	- -	-	-	- -	- M6	K21a -	K19 M10	37		
2.11b	可能性をためすか	-	- -	-	-	- -	- -	K21b -	- -			

§	項 目		全 国								ページ					
	≡	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)						
§ 2 個 人 的 態 度	2.12	他人のためか自分のためか	-	-	-	-	-	-	K27	-	K7	-	-	-	37	
	2.12b	スキがあれば利用されるか	-	-	-	-	-	-	K28	-	K8	-	-	-		
	2.12c	人は信頼できるか	-	-	-	-	-	-	K29	-	K9	-	-	-		
	2.13	将来に備えるか楽しむか	-	-	-	-	-	-	M7	-	-	-	K20	-		
	2.30	不安感 重い病気	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 a	-	-	-		
	2.30b	仕事上の事故	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 b	-	-	-		
	2.30c	街での暴力	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 c	-	-	-		
	2.30d	交通事故	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 d	-	-	-		
	2.30e	失 業	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 e	-	-	-		
	2.30f	戦 争	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 f	-	-	-		
2.30g	原子力施設 の事故	-	-	-	-	-	-	-	-	M25 g	-	-	-			
2.31	関心度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M26	38		
§ 3 宗 教	3.1	宗教を信じるか	-	16a	-	28a	33a	K19a	-	K11a	-	K15a	-	K13a	-	39
	3.1b	宗教名	-	16b	-	28a	33a	K19a	-	-	-	-	-	-	-	
	3.1c	(宗教) していること	-	-	-	28a	33a	K19a	-	-	-	-	-	-	-	
	3.2	「宗教心」は大切か	-	16c	-	28b	33b	K19b	-	K11b	-	K15b	-	K13b	-	
	3.3	宗教は1つか	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.4	人々の宗教への態度	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.5	「あの世」を信じるか	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	3.6	宗教か科学か	37	-	-	-	-	-	-	-	-	K29	-	-	-	
	3.7	性善・性悪	46	-	-	-	-	K36	-	-	-	-	-	-	-	
	3.8	自殺やむをえぬか (板ばさみ)	21の1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.8b	〃 (生活苦)	21の2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
3.9	首相の伊勢参り	14(15)	-	110	10	11	K14	-	K7	-	-	M6	K9	-	41	
3.9*	首相の伊勢参り (3.9の答を整理)	-	-	-	-	-	-	M4	-	-	-	-	-	-		
3.9b	首相の伊勢参り (3.9の答を変更)	-	-	-	-	-	-	-	-	M19	-	-	-	-		

§	項 目		全 国								ページ					
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)						
§ 4.1 子 供	4.1	子供を思いに出すとき	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	4.2	水鉄砲に注意	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	4.3	弟のわがまま	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	4.4	先生が悪いことをした	9	6	-	4	4	K5	-	K4	-	K4	-	K5	-	42
	4.4b	ウッー先生のうわさ話	-	-	-	-	-	M7a	-	-	-	-	-	-	-	
	4.4c	ウッーつき合い	-	-	-	-	-	M7b	-	-	-	-	-	-	-	
	4.4d	ウッー園内の混乱	-	-	-	-	-	M7c	-	-	-	-	-	-	-	
	4.5	子供に「金は大切」と教える	24の1	-	-	5	5	K6	-	K5	-	K5	M4	K6	-	43
	4.5*	子供に「金は大切」と教える	-	-	-	-	-	M10	-	-	-	-	-	-	-	
	4.6	子供に「メンツは大切」と教える	24の3	-	-	-	-	K8	-	-	-	-	-	-	-	
	4.7	子供に自由と規律	24の4	-	-	-	6	K7	-	-	-	-	-	-	-	
	4.13	就職のとき	-	-	-	-	-	M15a	-	M12a	-	-	-	M13a	46	
	4.13b	嫁入りのとき	-	-	-	-	-	M15b	-	M12b	-	-	-	M13b	46	
	4.14	子供の雑誌売り	-	-	-	-	-	-	-	M3	-	-	-	-	-	
	4.15	親もテレビに出すべきか	-	-	-	-	-	-	-	M15	-	-	-	-	-	
§ 4.2 家	4.8	結婚式・葬式盛大に	17(18)	-	109	9	10	K13	-	-	-	-	-	-	-	
	4.8*	結婚式に金をかける (4.8の間・答を 変更)	-	-	-	-	-	M3	-	-	-	-	-	-	-	
	4.9	本家・分家を考えるか	-	-	105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4.10	他人の子供を養子にするか	28の1	-	106	2	2	K3	-	K3	-	-	M3	K2	-	44
	4.10b	親類の子供を養子にするか	28の2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4.11	先祖を尊ぶか	3	-	-	-	-	K20	-	K10	-	K14	-	K12	-	45
	4.12	有名な息子のチンドン屋	12(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	4.30	家庭はくつろぐ場所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M9	-	-	-	
	4.31	家事や子供の世話	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M10	-	-	-	
4.32	離婚すべきでないか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M11	-	-	-		

§	項 目		全 国								ページ
	≠	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)	
§ 5	5.1	恩人がキトクのとき	41	- 111a	13a	15a	K21a -	K15a -	K16a M16a	K14a -	47
	5.1*	恩人がキトクのとき 《5.1の間・答を 変更》	-	- -	-	-	- M17a	- -	- -	- -	-
	5.1b	親がキトクのとき	42	- 111b	13b	15b	K21b -	K15b -	K16b M16b	K14b -	48
	5.1b*	親がキトクのとき 《5.1bの間・答を 変更》	-	- -	-	-	- M17b	- -	- -	- -	-
	5.1c1	入社試験（親戚）	-	- -	20a	22a	K28aM16a	K21a -	K22a M21a	K21a -	50
	5.1c2	入社試験（恩人の 子）	-	- -	20b	22b	K28bM16b	K21b -	K22b M21b	K21b -	51
	5.1d	大切な道徳	-	- -	17	20	K26 -	K18 -	K19 -	K17 -	53
	5.1e	「親孝行」戦前との 比較	-	- -	18a	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.1f	「恩返し」戦前との 比較	-	- -	18b	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.1g	「権利尊重」戦前との 比較	-	- -	18c	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.2	恩人のむすこの入社	26	14 114	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.3	出し合う金が高い とき	-	13 -	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.4	目上の誤解の注意	19	- 116	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.4c	目上につかわれる とき	11	- - -	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.5	巡査へ口答え	-	- 118	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-
	5.6	めんどろをみる課長	35	- 117	21	23	K29 -	K22 -	K23 M22	K22 M18	55
	5.6*	上役とのつき合い 《5.6の間・答を 変更》	-	- - -	-	-	- M5	- - -	- - -	- - -	-
	5.6b	つとめたい会社	-	- - -	-	-	- M18	K23 -	- - -	- - -	-
5.6c	嫌いな旅行—いく べきか	-	- - -	-	-	- - -	K25a -	- - -	- M19a	56	
5.6d	嫌いな旅行—世間 では	-	- - -	-	-	- - -	K25b -	- - -	- M19b	56	
5.6e	課長—ヨメの世話	-	- - -	-	-	- - -	K30a -	- - -	- - -	-	
5.6f	課長—引っ越し	-	- - -	-	-	- - -	K30b -	- - -	- - -	-	
5.6g	課長—居残り	-	- - -	-	-	- - -	K30c -	- - -	- - -	-	
5.6h	他人との仲か仕事か	-	- - -	-	-	- - -	K14 -	K26 -	- - -	-	
5.7	近所・安い・有名 な店	36	- - -	-	24	- - -	- - -	- - -	- - -	-	
5.8	共同炊事	40	- - -	-	25	- - -	- - -	- - -	- - -	-	
5.9	秀吉は若者の手本	6	- - -	-	-	K9 -	- - -	- - -	- - -	-	
5.10	四十七士はよいか	50(51)	- - -	-	-	- - -	- - -	- - -	- - -	-	
5.16	三万円の前借書	-	- - -	-	26	- - -	- M10	- - -	- - -	-	
5.17	社会生活で注意 しあう	-	- - -	-	-	- M12	- M9	- - -	- - -	-	
5.18	友人のタイプ	-	- - -	-	-	- M14	- - -	- - -	- - -	-	

§	項 目		全 国								ペー ジ				
	=	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)					
§ 5 身 近 な 社 会	5.19	議論をつくすか	-	-	-	-	-	M19	-	-	-	-	-		
	5.19b	議論をつくすか (5.19の間・答を 変更)	-	-	-	-	-	-	K20	-	-	-	-		
	5.20	「自由」は大切か	-	-	-	-	-	M24a	-	-	-	-	-		
	5.20b	「規律」は大切か	-	-	-	-	-	M24b	-	-	-	-	-		
	5.20c	「宗教的な心」は 大切か	-	-	-	-	-	M24c	-	-	-	-	-		
	5.20d	「国を愛するとい うこと」は大切か	-	-	-	-	-	M24d	-	-	-	-	-		
	5.20e	「先祖をとうとぶ こと」は大切か	-	-	-	-	-	M24e	-	-	-	-	-		
	5.20f	「親孝行」は大切か	-	-	-	-	-	M24f	-	-	-	-	-		
	5.20g	「恩返し」は大切か	-	-	-	-	-	M24g	-	-	-	-	-		
	5.20h	「お金」は大切か	-	-	-	-	-	M24h	-	-	-	-	-		
	5.21	課長の選挙違反	-	-	-	-	-	-	M14	-	-	-	-		
5.22	金か人間のつなが りか	-	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-			
§ 6 男 女 の 差 異	6.1	中学校の男女共学	-	-	102	-	-	-	-	-	-	-	-		
	6.2	男・女の生まれ かわり	-	-	103	1a	1a	K1a M1a	-	M1a	K1	-	K1	57	
	6.2b	男・女を希望	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	6.2c	苦労どちらが多いか	-	-	-	1b	1b	K1b M1b	-	M1b	-	-	-	-	
	6.2d	楽しみどちらが多 いか	-	-	-	1c	1c	K1c M1c	-	M1c	-	-	-	-	
	6.2e	男の子と女の子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M2	58
	6.3	女は家庭か世間か	-	-	104	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6.4	女の仕事は好まし いか	10	-	-	-	-	-	K2	-	-	-	-	-		
6.5	男女の能力差	-	-	120	-	-	-	-	-	-	-	-	M5	58	
6.6	年下の上役と女の 上役	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M7	59	

§	項 目		全 国										ページ			
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)						
§ 7 一 般 の 社 会 的 問 題	7.1	人間らしさはへるか	5	3	-	6	7	K10	-	K2	-	K3	M2	K4	-	60
	7.2	心の豊かさはへらないか	29	24	-	12	13	K18	-	K12	-	-	M8	K27	-	61
	7.2b	21世紀の世の中	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	M28	62
	7.3	家族・国家中心と個人中心	-	26	126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.4	日本と個人の幸福	45	-	-	16	19	K25	-	K17	-	K18	M18	K16	-	63
	7.4b	国の繁栄と国民の生活	-	-	-	-	-	-	-	-	M20	K30	-	K29	-	64
	7.5	公益と個人の権利	-	-	119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.5a	公益と個人の権利 《7.5の公を 公共に》	-	-	-	-	-	-	-	-	M23	-	-	-	-	-
	7.5b	公益と個人の権利	-	-	-	23	28	K31	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.5b-a	公益と個人の権利 《7.5bの公を 公共に》	-	-	-	-	-	-	M21	-	M17	-	-	-	-	-
	7.5c	道路立退き反対運動	-	-	-	-	-	-	-	M22 a	-	-	-	-	-	-
	7.5d	学校立退き反対運動	-	-	-	-	-	-	-	M22 b	-	-	-	-	-	-
	7.6	勲章か賞金か	23	9	-	14	16	K22	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.7	仕事の価値	8	-	108	8	9	K12	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.8	個人賞金の使い方 (ノーベル)	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.9	ふしだらな科学者	48(49)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.10	公金使いこみの疑い	-	-	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.11	自称・他称の統一	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.12	競輪で教育施設	22	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7.13	法律は金持に有利か	-	-	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7.13c	法律の精神	-	-	-	22	27	K30	-	-	-	-	-	-	-	-	
7.13d	行為か動機か	-	-	-	-	-	-	-	-	K9	-	-	-	-	-	
7.14	客がない車中の タバコ	-	-	122 ^a _b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7.15	労組をつくるのは よいか	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7.16	事故と社長	-	-	-	-	-	-	M13	-	M16	-	-	-	-	-	
7.18	人間の健康の面は よくなるか	-	-	-	-	-	-	M27 a	-	M25 a	-	-	-	-	-	
7.18b	心のやすらかさは ますか	-	-	-	-	-	-	M27 b	-	M25 b	-	-	-	-	-	
7.18c	人間の自由はふえ るか	-	-	-	-	-	-	M27 c	-	M25 c	-	-	-	-	-	
7.18d	生活は豊かになるか	-	-	-	-	-	-	M27 d	-	M25 d	-	-	-	-	-	
7.18e	幸福になるか	-	-	-	-	-	-	M27 e	-	M25 e	-	-	-	-	-	
7.19	才能か運か	-	-	-	-	-	-	-	-	M2	-	-	-	M6	65	
7.20	自分の責任か	-	-	-	-	-	-	-	-	M11 a	-	-	-	-	-	

§	項 目		全 国								ページ				
	≡	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)					
§7 一 般 の 社 会 的 問 題	7.21	金を貰えばわるい 気はしないか	-	-	-	-	-	-	M4a	-	-	-	-		
	7.21b	金があれば墮落する か	-	-	-	-	-	-	M4b	-	-	-	-		
	7.21c	かせいだ金と幸運 の金	-	-	-	-	-	-	M4c	-	-	-	-		
	7.21d	金にきちようめん	-	-	-	-	-	-	M4d	-	-	-	-		
	7.21e	無理して金をかせ ぐか	-	-	-	-	-	-	M4e	-	-	-	M16a	65	
	7.22	万事金か	-	-	-	-	-	-	M11b	-	-	-	M16b	66	
	7.23	事故と先生—本人 の意見	-	-	-	-	-	-	M13a	K28a	-	K26a	-	67	
	7.23b	事故と先生—一般 の親は	-	-	-	-	-	-	M13b	K28b	-	K26b	-	67	
	7.24	就職の第1の条件	-	-	-	-	-	-	K24a	-	K25	M23	K24	M17	68
	7.24b	就職の第2の条件	-	-	-	-	-	-	K24b	-	-	-	-	-	
	7.25	お金と仕事	-	-	-	-	-	-	-	-	K24	-	K23	M11	69
	7.29	くらしむき	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M12	70	
	7.29b	たけのご生活	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M24	70	
	7.30a	生活水準10年の変化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14a	-	M25	71
	7.30b	日本人の生活水準	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14b	-	-	
	7.31	今後の生活水準	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M15	-	-	
	7.32	お金とコネがあれば よい治療うけられる か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M24	-	-	
	7.33	コンピュータ社会 は好ましいか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M26	-	-	
	7.34	省エネルギーは重 要か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27a	-	-	
	7.35	環境の保護は重要か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M27b	-	-	
7.36	科学上の発見・利用 は生活に役立つか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M28	-	-		
7.37	自分だけとり残され ているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M8	71	
7.38	努力は報われるか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M14	72	
7.39a	社会のために働く人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M15a	73	
7.39b	仕事に打ち込む人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M15b	73	
§8 政 治 的 態 度	8.1	政治家にまかせるか	30	12	112	11	12	K15	-	-	-	-	-	-	
	8.1*	政治家にまかせるか	-	-	-	-	-	M8	-	-	-	-	-	-	
	8.1b	政治家にまかせるか (8.1の質問文と 8.1*の答)	-	-	-	-	-	-	K8	-	K10	M7	K8	-	74
	8.2	「民主主義」はよい 感じか	-	-	123a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2b	「資本主義」はよい 感じか	-	-	123b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.2c	「自由主義」はよい 感じか	-	-	123c	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8.2d	「社会主義」はよい 感じか	-	-	123d	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

§	項 目		全 国								ページ				
	#	見 出 し	I (1953)	II (1958)	III (1963)	IV (1968)	V (1973)	VI (1978)	VII (1983)	VIII (1988)					
§8 政 治 的 態 度	8.2e	「民主主義」はよいか	-	-	27a	32a	K35a	-	-	-	-	-	-		
	8.2f	「資本主義」はよいか	-	-	27b	32b	K35b	-	-	-	-	-	-		
	8.2g	「自由主義」はよいか	-	-	27c	32c	K35c	-	-	-	-	-	-		
	8.2h	「社会主義」はよいか	-	-	27d	32d	K35d	-	-	-	-	-	-		
	8.2i	「共産主義」はよいか	-	-	-	-	K35e	-	-	-	-	-	-		
	8.2j	「全体主義」はよいか	-	-	-	-	K35f	-	-	-	-	-	-		
	8.3	科学者と政治	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	8.3b	専門の研究と政治	43	-	24	29	K32	-	-	-	-	-	-		
	8.4	校長の礼服	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8.4b	校長の礼服	-	-	-	3	K4	-	-	-	-	-	-		
8.5	社会問題への関心	-	30	130	-	-	-	-	-	-	-	-			
8.6	選挙への関心	-	34	134	33	38	K39	-	M18	-	M31	K28	M21	75	
8.7	支持政党	58	35	135	35	39	K40	M28	K31	M26	K支持	M支持	K支持	M支持	76
8.8	社会は変えるべきか	-	-	-	-	-	-	-	K26	-	-	-	-		
8.9	社会不満の表し方	-	-	-	-	-	-	-	M24	-	-	-	M22	77	
§9 日 本 人 種	9.1	日本人の性格(長所)	-	28	128	32a	37a	K38a	-	-	K31	-	K30	-	78
	9.1c	日本人の性格(短所)	-	-	-	32b	37b	K38b	-	-	-	-	-	-	
	9.3	日本の庭・西洋の庭	32	21	-	25	30	K33	M23	-	-	-	-	-	
	9.3b	パリ・イラン・ニューヨークの建物	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.4	立派な人物	-	-	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.5	日本人・西洋人の残醜	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.6	日本人・西洋人の優劣	25	-	-	30	35	K16	-	-	K11	-	-	-	
	9.7	すぐれた人種	-	-	124	31	36	K37	-	-	-	-	-	-	
	9.8	人種の能力差	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.9	日本の立場	-	-	113	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.10	国旗をあげること(競技)	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	9.10b	国旗をあげること(競技)	-	-	-	-	-	K17	-	-	-	-	-	-	
	9.12	日本の「科学技術の水準」	-	-	-	-	-	-	M25a	-	M22a	-	-	M27a	79
	9.12b	日本の「芸術」	-	-	-	-	-	-	M25b	-	M22b	-	-	M27b	79
	9.12c	日本の「経済力」	-	-	-	-	-	-	M25c	-	M22c	-	-	M27c	80
9.12d	日本の「生活水準」	-	-	-	-	-	-	M25d	-	M22d	-	-	M27d	80	
9.12e	日本の「心の豊かさ」	-	-	-	-	-	-	M25e	-	M22e	-	-	M27e	80	
9.13	日本文化の国際化	-	-	-	-	-	-	-	-	M21	-	-	-		
9.14	外国人との結婚	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M3	81	
9.15	外国旅行の経験	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	M4	81	

Research Report
General Series No. 69

A STUDY OF THE JAPANESE
NATIONAL CHARACTER

— THE EIGHTH NATION WIDE SURVEY —

Research Committee
on the Study of the Japanese National Character.

TÔKEI SÛRI KENKYÛZYO

Institute of Statistical Mathematics
4-6-7 Minami-Azabu, Minato-ku,
Tokyo, Japan-106